

2012 年春季年会

# 年会プログラム

於 龍谷大学（深草キャンパス）

2012 年 3 月 19 日（月）～ 3 月 22 日（木）

日本天文学会

# 日本天文学会 2012 年春季年会プログラム

期 日 2012年3月19日(月)～3月22日(木)

場 所 龍谷大学深草キャンパス(京都市伏見区深草塚本町67)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2012年3月18日(日)～3月22日(木)>

日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			
3月18日 (日)							公開講演会								
3月19日 (月)	A	受付			Y. 教育・他	W. 飛翔観	T. 銀河団	K. 超新星爆発/L. 太陽系	M. 太陽	N. 恒星	S. 銀河核	A. プラズマ	ALMA 特別セッション (H会場)	天文教育 フォーラム (H会場)	理事会
	B														
	C														
	D														
	E														
	F														
	G														
	H														
3月20日 (火)	A	受付	Y. 教育・他	ポスター	昼休み (評議員会)	J. 高密度星	X. 銀河形成	S. 銀河核	A. プラズマ	受賞記念講演 (3号館)	総会出席者確認	総会 (3号館)			
	B		W. 飛翔観			W. 飛翔観									
	C		V. 地上観			V. 地上観									
	D		L. 太陽系			P. 星・惑星									
	E		M. 太陽			M. 太陽									
	F		N. 恒星			X. 銀河形成									
	G		S. 銀河核			S. 銀河核									
	H		A. プラズマ			A. プラズマ									
	I		ジュニアセッション												
	3月21日 (水)		A			受付							J. 高密度星	ポスター	昼休み
B		W. 飛翔観	R. 銀河												
C		V. 地上観	V. 地上観												
D		P. 星・惑星	P. 星・惑星												
E		M. 太陽	Q. 星間現象												
F		X. 銀河形成	X. 銀河形成/U. 宇宙論												
G		B. アストロH	B. アストロH												
H		A. プラズマ	A. プラズマ												
3月22日 (木)	A	受付	J. 高密度星	ポスター	昼休み	J. 高密度星	U. 宇宙論	B. アストロH	A. プラズマ						
	B		R. 銀河			R. 銀河									
	C		V. 地上観			V. 地上観									
	D		P. 星・惑星			P. 星・惑星									
	E		Q. 星間現象			Q. 星間現象									
	F		U. 宇宙論			U. 宇宙論									
	G		B. アストロH			B. アストロH									
	H		A. プラズマ			A. プラズマ									
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			

A会場：21号館2F(201)  
 B会場：21号館2F(202)  
 C会場：21号館4F(401)  
 D会場：21号館5F(501)  
 E会場：21号館5F(502)  
 F会場：21号館6F(602)  
 G会場：21号館6F(603)  
 H会場：21号館6F(604)  
 I会場：3号館2F(201)

受付：2号館1F(109)  
 ポスター会場：2号館2F～4F  
 展示コーナー：2号館1F、2F  
 会議室1：2号館2F(203)  
 会議室2：2号館2F(204)  
 総会会場：3号館3F(301)  
 インターネット室1：21号館4F(404)  
 インターネット室2：21号館4F(407)

## ◎講演数

講演数：合計 746

(口頭講演 (a)：477、ポスター講演 (b)：197、ポスター講演 (c)：72)

## ◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になりました。

## ○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講演登録費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (2号館 1 F)

○参加登録受付時間： 3月19日 11:00～16:00  
 3月20日 09:00～16:00  
 3月21日 09:00～16:00  
 3月22日 09:00～13:00

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は8会場 (2日目のみ9会場) で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3月19日の12:00から3月22日の13:00までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180 cm×横90 cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

## ◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月18日	13:00～17:00	京都大学百周年時計台記念館	公開講演会
3月19日	15:30～17:00	H会場	ALMA 特別セッション
	17:00～18:30	H会場	天文教育フォーラム
3月20日	15:45～16:15	3号館3F	受賞記念講演
	16:30～18:30 (16:30～17:00 総会出席者確認、17:00 総会開始)	3号館3F	総 会 ○各賞の受賞 ○監査報告、他 ○2011年度事業報告 ○2011年度決算報告 ○新定款の承認
3月21日	15:45～17:15	H会場	TMT 特別セッション
	17:45～		懇親会

## ◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月19日	18:45～19:45	会議室1 2号館(203)	理事会	D
3月20日	12:30～13:30	会議室1 2号館(203)	評議員会	D
	12:30～13:30	A会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	A
	12:30～13:30	B会場	女性天文学研究者の会	A
3月21日	12:30～13:30	A会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	12:30～13:30	B会場	宇宙電波懇談会総会	C
	12:30～13:30	C会場	研究計画検討会	D
	12:30～13:30	E会場	太陽研究者連絡会	B
3月22日	12:30～13:30	A会場	天文・天体物理若手夏の学校座長説明会	A
	12:30～13:30	B会場	SKA-J コンソーシヤム定例 Face to Face 会合	B
	12:30～13:30	C会場	光学赤外線天文連絡会総会	B

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

## ◎ ALMA 特別セッション : ALMA 初期科学運用観測開始

日 時 : 2012年3月19日(月) 15:30 ~ 17:00

場 所 : H会場

概 要 : いよいよ ALMA の最初の初期科学運用が始まりました。すでに部品レベルでは 50 台以上のアンテナがチリに到着し、各種装置の組み立て、試験、運用など急速に本格運用に向けて立ち上がりつつあります。その中で、この春季学会が ALMA の初期科学運用が始まってからの最初の学会です。本特別セッションでは第 2 回目の Call for proposal 直前の開催ですので、天文学会員の皆様に ALMA の第 2 回初期運用時の性能、特に今回新たに加わった機能を改めて具体的に紹介し、プロポーザルのブラッシュアップに役立てていただきたいと思います。また、この間の ALMA サイエンス評価活動でさまざまな天体画像が得られました。それらの最新成果を紹介して、ALMA のポテンシャルを皆様に伝えたいと思います。

プログラム : 1. ALMA 進捗状況	井口 聖 (国立天文台)
2. ALMA 第二回プロポーザル募集の仕様とユーザー支援	齋藤正雄 (国立天文台)
3. ALMA 天体画像からわかる ALMA の性能	Espada (国立天文台)

世 話 人 : 齋藤正雄 (国立天文台 ALMA 推進室)

## ◎ TMT 特別セッション

日 時 : 2012年3月21日(水) 15:45 ~ 17:15

場 所 : H会場

概 要 : 国際プロジェクトである TMT(30m 地上大型望遠鏡計画) の設計は急ピッチで進んでおり、日本もまた、プロジェクトのメジャーパートナーとして、これを本格的に進めることを目指しています。今回の特別セッションでは、TMT 計画の現状を報告するとともに、天文学の新しい展開が期待されるいくつかの TMT キーサイエンスについて広く天文学コミュニティのみなさんにご紹介したいと思います。TMT 計画の実現のためには、日本にとって、今こそ開発・研究体制に大きな変革が必要です。今後日本がどのように具体的にこの計画に寄与し、どのような科学運用を推し進めていくべきか、についての議論を通じて、様々な分野の研究者が積極的に参加する機運を盛り上げていきたいと思っています。

世 話 人 : 柏川伸成、児玉忠恭 (国立天文台 TMT プロジェクト室)

## ◎天文教育フォーラム

主催：日本天文学会、天文教育普及研究会

テーマ：「科学コミュニケーションと天文学」

日時：2012年3月19日(月) 17:00～18:30

場所：H会場

概要：最近「科学コミュニケーションの推進」が国の科学技術基本計画の方針となり、その推進という面だけでなく、市民が気軽にサイエンスを楽しめるような機会を増やす流れも各地で活発になりつつあります。そこで2011年の春の天文教育フォーラムでは「科学コミュニケーション」をテーマとして開催される予定でした。ところが直前の東日本大震災の発生によって、残念ながら中止のやむなきに至りました。このように時期を得たと思われるテーマをきちんと取り上げたいという思いと、さらにはこの震災によって「科学コミュニケーション」の役割についても改めて問い直す必要が出てきたのではないかと考え、今回もほぼ前回予定したテーマにそったものとなりました。「科学コミュニケーション」において実践が進んでいると考えられている天文コミュニティにおいて、その立ち位置や手法をまとめて社会に発信できる形にすることの重要性は依然として変わらないでしょう。

フォーラムではまず科学コミュニケーションの実情について震災を含めた広い立場から整理していただき、その中から天文学分野における特性を概観できればと思います。その後、市民の立場で活動されている例についてもお話しいたします。さらに国際的に見た天文分野における科学コミュニケーションの現状について話題提供もしていただき、今後我々はどのように考え、そのような形で参加して行くべきなのかを議論したいと思います。

- 内容：1. 「震災と科学コミュニケーション」 横山広美(東京大学理学部)  
 2. 「市民の立場による科学コミュニケーション」 小幡真希(星のソムリエみたか)  
 3. 「天文学におけるサイエンスコミュニケーション活動の現状」 縣秀彦(国立天文台)  
 4. 討論 進行：高梨直紘(東京大学生産技術研究所/EMP)

参加費：日本天文学会年会は非会員も参加できます。また、天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。年会受付時に、その旨お申し出下さい。

実行委員：仲野誠(大分大学)、有本淳一(京都市立塔南高校)、柴田晋平(山形大学)、安藤享平(郡山市ふれあい科学館)

## ◎日本天文学会公開講演会

テーマ：「最新テクノロジー望遠鏡で迫る宇宙」

(<http://www.kusastro.kyoto-u.ac.jp/asj2012a/public.html>)

日時：2012年3月18日(日) 13:00～17:00(開場12:00)

場所：京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

([http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm))

対象：中学生以上・一般向け(小学生以下でも特に希望する人なら参加できます。)

- 内容：(1) 講演会の趣旨と金環日食の話 柴田一成(京都大学)  
 (2) 「光赤外線望遠鏡、その最先端技術」 長田哲也(京都大学)  
 (3) 「アンデスの巨大電波望遠鏡ALMA」 長谷川哲夫(国立天文台)  
 (4) 「X線望遠鏡って：それで何が見えるの」 小山勝二(京都大学)  
 (5) 総合質疑・講師等によるパネルディスカッション

趣旨：天文学者と聞くと、夜な夜な望遠鏡を覗いて星の研究をしているというイメージがあるかもしれませんが、しかし、今や望遠鏡も観測装置も現代の新しい技術を取り入れることによってこのようなイメージとは随分違った観測が行われています。しかも、現代の天文学では、電波からX線・ガンマ線まで全ての電磁波の波長域での観測結果を総合することで宇宙の謎に迫ることが必須となっていて、それぞれの波長で望遠鏡や観測方法が異なります。例えば、光や赤外線の波長ではすばる望遠鏡に代表されるような1枚鏡による観測が一般的で、電波ではALMAのような多数のアンテナを組み合わせた観測もあり、X線では地上では観測せずに衛星による観測が行われています。

そこで、この講演会では、目に見える光だけではなく、電波とX線の波長域を取り上げ、それぞれの波長によって望遠鏡の仕組みがどのように異なるのか、どうやって観測しているのか、波長が異なると見える宇宙・天体の姿が全く違っていますが、どんな風に違うのか等についてお話を頂きます。三人の講師の方は、それぞれの波長での最先端の技術に詳しい一線の研究者で、最新望遠鏡や観測装置、将来の望遠鏡等の話もして頂く予定です。講演の後には、全波長を見渡して宇宙を見る「眼」の違いや色々な波長での観測が必要な理由等について総合的な質疑の場を設け、講演参加者も交えて討論を行います。

また、三つの講演の前には、2012年5月にみられる金環日食の簡単な紹介も行います。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

申込：事前の参加申し込みは不要。入場無料。当日会場にて受付してください。ただし、会場定員500名を超える場合には、入場制限をかける場合もあります。なお、駐車場などありませんので、公共交通機関をご利用ください。市バス京大正門前下車徒歩約5分です。

## ◎ ALMA 展示ブース : ALMA プロポーザル作成・データ解析相談室

日時：天文学会期間内（ALMA 特別セッション開催時を除く）

場所：ポスター会場（205）

概要：ALMA 推進室では天文学会内において、ALMA を用いた観測を考えている研究者、ALMA の最新情報に興味のある方々に対して常設ブースを通じて情報提供と質問・相談受付を行います。次回の ALMA 初期運用共同利用である Cycle1 での観測を考えている方々には、プロポーザル作成の相談としてどのような装置が利用可能となりどのような能力を有するのか？プロポーザル作成にどのような手順や情報が必要となるのか？注意点は何か？などの情報提供を行い、また具体的なプロポーザル作成相談も受け付けます。それ以外にも ALMA データの解析に関する相談もこのブースにて対応します。その場合、ご自身の PC に解析ソフト CASA をインストールして持参していただければより具体的な相談にも対応できます。お気軽にご利用ください

世話人：西合一矢（国立天文台 ALMA 推進室）saigo.kazuya@nao.ac.jp

齋藤正雄（国立天文台 ALMA 推進室）masao.saito@nao.ac.jp

奥村幸子（国立天文台 ALMA 推進室）sachiko.k.okumura@nao.ac.jp

## ◎ TMT 展示ブース : TMT 望遠鏡セグメント鏡の試作

場所：2号館 1F

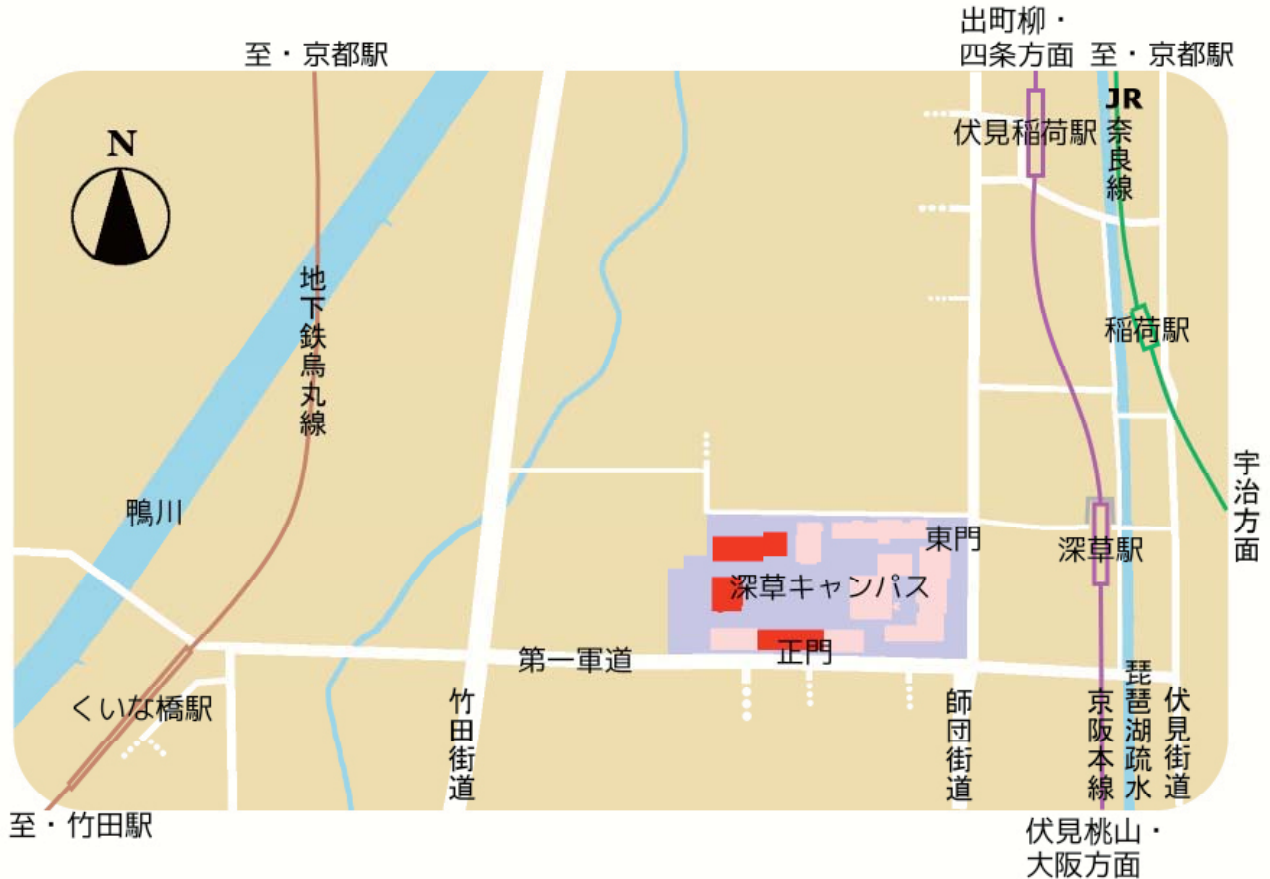
概要：国立天文台は次世代の超大型光赤外線望遠鏡計画として TMT(Thirty Meter Telescope) プロジェクトへの参画を目指している。TMT プロジェクトはカリフォルニア工科大学・カリフォルニア大学・カナダ・日本・中国・インドの 5ヶ国 6パートナーの国際協力で口径 30m の超大型光赤外線望遠鏡をハワイ島マウナケア山頂に建設する計画である。TMT 望遠鏡はすばる望遠鏡とは異なり、対角 1.5m の六角形をした鏡を 492 枚合わせて有効口径 30m の主鏡を構成するセグメント鏡方式を採用する。日本は貢献の大きな柱の一つとしてセグメント鏡の製作を提案しており、国立天文台・TMT プロジェクト室は、その技術実証のために主鏡を構成するセグメント鏡のフルサイズ鏡を試作した。そこで、TMT プロジェクトへの日本の寄与についての進展を実感して頂くために、年会の展示ブースにセグメント鏡の実物（対角 1.44m 六角形・5cm 厚・極低膨張ガラス製；表面を非球面光学研磨）をメインにした TMT 望遠鏡についての展示を行う。

世話人：家 正則（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3520

山下卓也（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3786

鈴木竜二（国立天文台・TMT プロジェクト室）TEL 0422-34-3524

## 春季年会会場（龍谷大学・深草キャンパス）のご案内



### 交通案内

#### ●京都駅から

- ・JR奈良線 下り 普通 稲荷駅下車（日中1時間4本 所要時間約5分 運賃140円）南西へ徒歩約10分
- ・地下鉄烏丸線 竹田/新田辺・近鉄奈良方面行き くいな橋駅下車（所要時間約6分 運賃250円）東へ徒歩約10分

#### ●京阪電鉄京阪本線 深草駅下車 西へ徒歩約5分（深草駅は普通・準急のみ停車）

#### ●大阪伊丹空港から

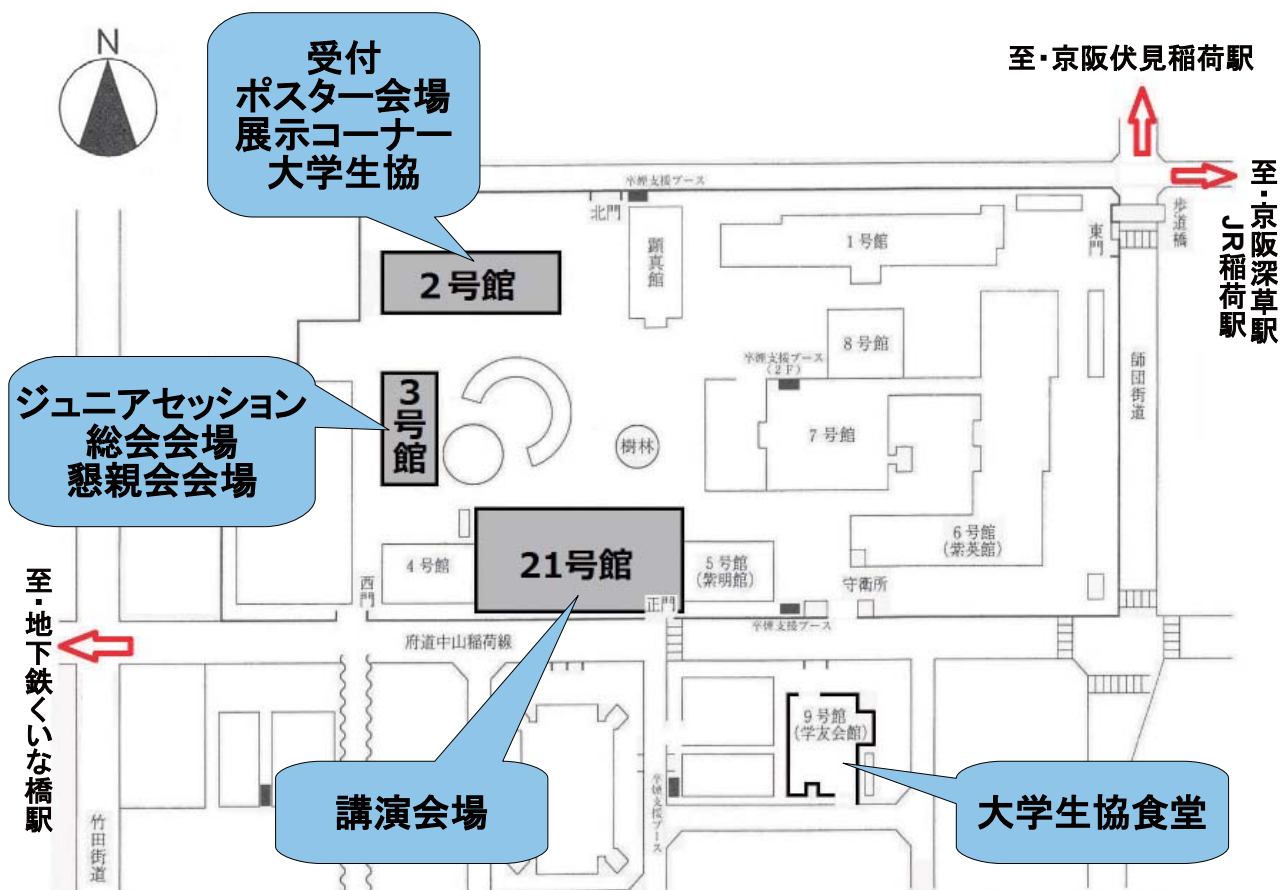
空港リムジンバス京都行き（南ターミナル15番のりば 北ターミナル5番のりば、日中20分間隔）  
京都駅八条口下車（所要時間50分～55分 運賃1280円）以降京都駅からと同じ

#### ●関西国際空港から

- ・空港リムジンバス京都/高速京田辺行き（旅客ターミナルビル1F8番のりば、日中1時間に2本または1本）  
京都駅八条口下車（標準所要時間約88分 運賃2500円）以降京都駅からと同じ
- ・関西空港駅から 特急はるか 京都行き 京都駅下車（日中30分間隔 所要時間約75分 自由席運賃2980円）  
以降京都駅からと同じ



## キャンパスマップ



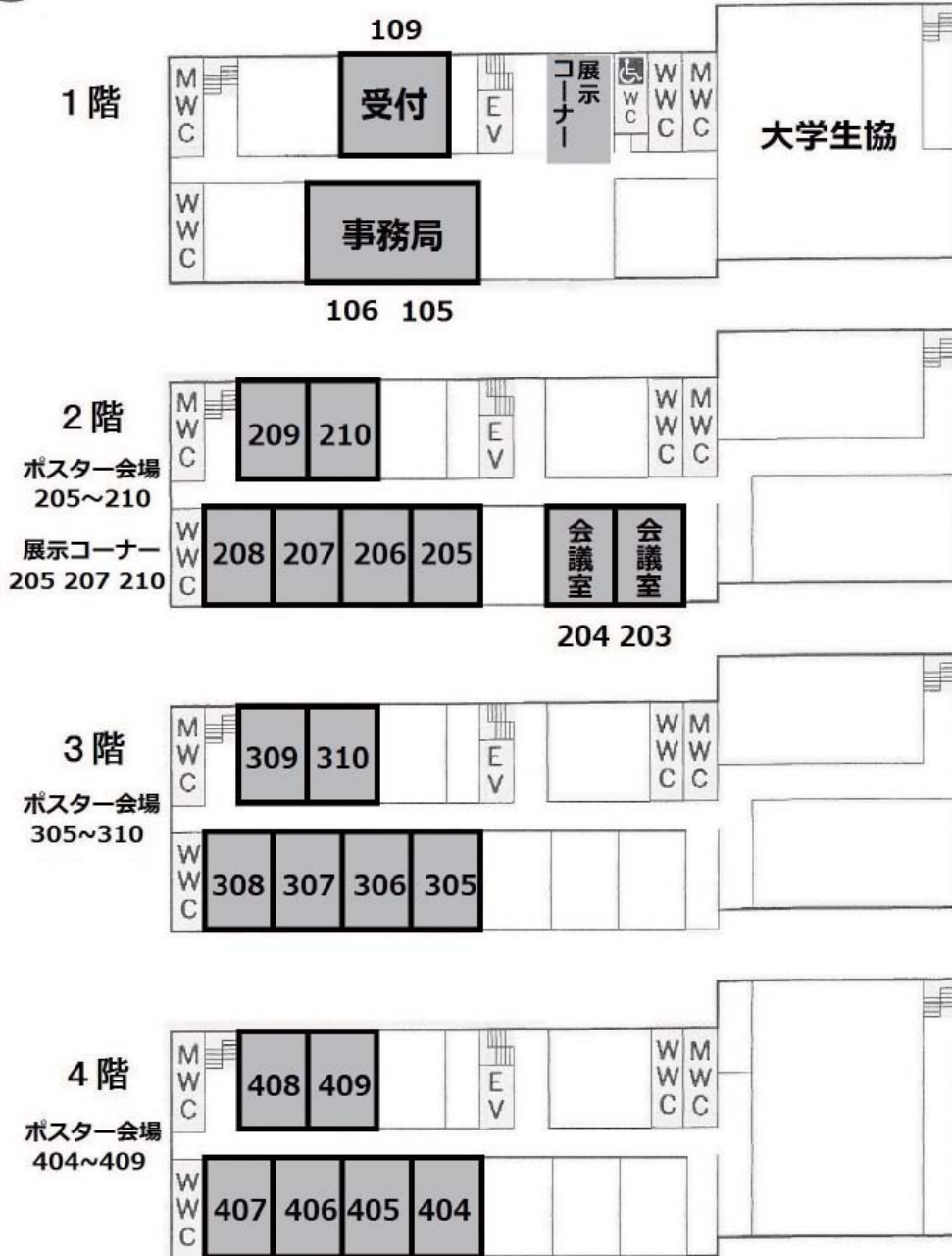
・会場：龍谷大学深草キャンパス2号館，3号館，21号館

・最寄り駅：京阪電鉄京阪本線 深草駅  
JR奈良線 稲荷駅  
京都市営地下鉄烏丸線 くいな橋駅

- ・受付：2号館1階
- ・講演会場：21号館2階，4階～6階，3号館2階（ジュニアセッション）
- ・ポスター会場：2号館2階～4階
- ・正会員・賛助会員展示コーナー：2号館1階，2階
- ・総会：3号館3階
- ・会議室：2号館2階
- ・インターネット室：21号館4階
- ・懇親会：3号館地下食堂

※龍谷大学は全館禁煙です。喫煙は学内に設置されている「卒煙支援ブース」にてお願いいたします。

# 会場案内図 2号館



404：ジュニア  
405：ジュニア  
406：ジュニア  
407：ジュニア  
408：プラズマ  
409：プラズマ

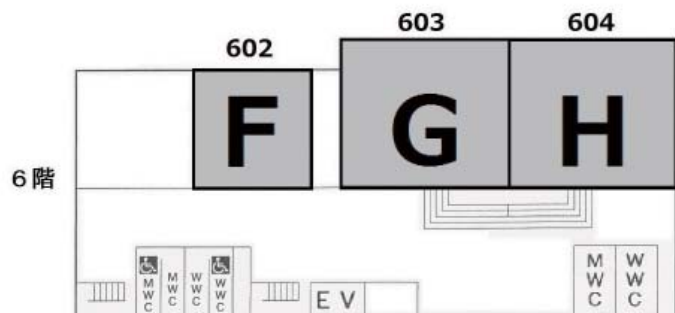
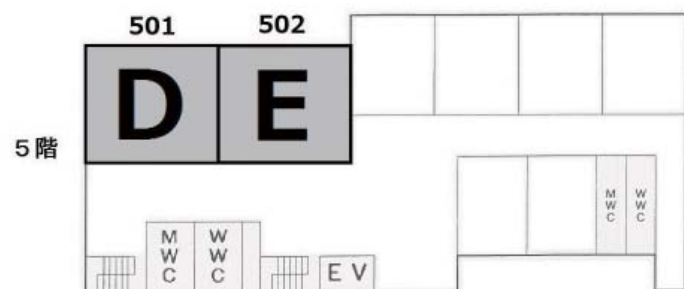
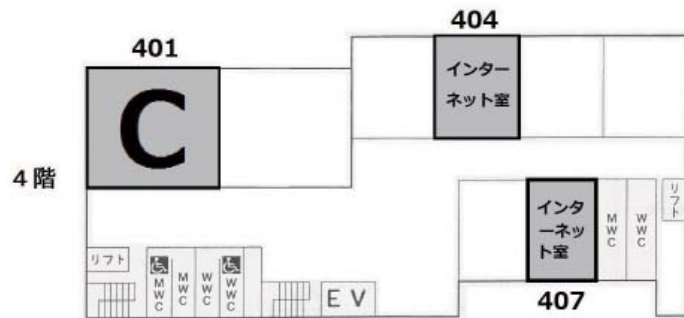
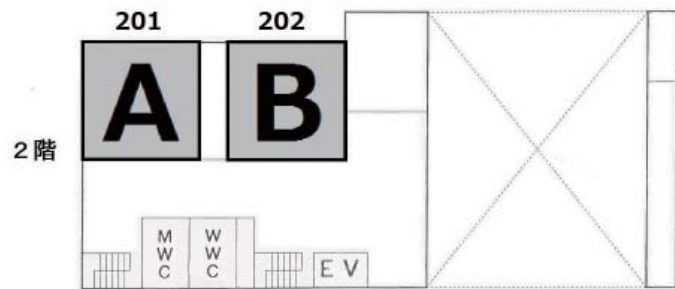
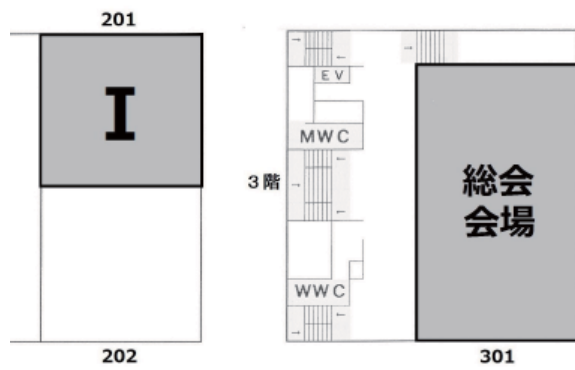
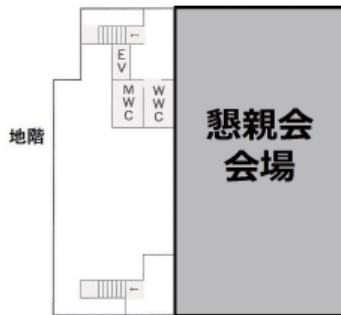
305：高密度星  
306：超新星爆発、太陽系、太陽  
307：恒星、星・惑星  
308：星・惑星、星間現象  
309：銀河、銀河核  
310：銀河団、宇宙論、銀河形成、PDL

205：地上観、展示  
206：地上観  
207：地上観、展示  
208：飛翔観  
209：飛翔観  
210：教育・他、展示

# 会場案内図

## 21号館

### 3号館



## 口頭セッション 3月19日(月)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【教育・他】	【飛翔観】	【銀河団】	【超新星爆発 / 太陽系】	【太陽】	【恒星】	【銀河核】	【プラズマ】
13:00	Y01a	W101a	T01a	K01a	M01a	N01a	S01a	A01a ) A12b
13:12	Y02b-Y04b	W102a	T02a	K02a	M02a	N02a	S02a	
13:24	Y05a	W103a	T03a	K03a	M03a	N03a	S03a	
13:36	Y06a	W104b-W106b	T04a	K04a	M04a	N04a	S04a	
13:48	Y07a	W107a	T05a	K05a	M05b-M07b	N05a	S05a	
14:00	Y08b, Y09b Y11b	W108a	T06a	K06a	M08a	N06a	S06a	
14:12	Y14b-Y16b	W109a	T07a	K07b-K09b	M09a	N07a	S07a	
14:24	Y17a	W110a	T08a	K10b, K11b	M10a	N08a	S08a	
14:36	Y18a	W111a	T09b	L01a	M11a	N09a	S09a	
14:48	Y19a	W112a	-	L02a	-	N10a	S10b-S12b	
15:00	Y22b, Y23b	W113b-W115b	-	L03b	-	-	-	
15:30	ALMA 特別セッション (H会場)							
17:00	天文教育フォーラム (H会場)							
18:45	理 事 会							

## 口頭セッション 3月20日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【教育・他】	【飛翔観】	【地上観】	【太陽系】	【太陽】	【恒星】	【銀河核】	【プラズマ】	
09:30	Y24a	W116a	V101a	L04a	M12a	N11a	S14a	A13a )	ジュニアセッション
09:42	Y25a	W117a	V102a	L05a	M13a	N12a	S15a		
09:54	Y26a	W118a	V103a	L06b, L08b L09b	M14a	N13a	S17a		
10:06	Y27a	W119a	V104a	L10a	M15a	N14a	S18a		
10:18	Y28a	W123a	V105a	L11a	M16a	N15a	S20a		
10:30	Y29a	W124a	V106a	L12a	M17a	N16a	S21a		
10:42	Y30a	W125a	V107a	L13a	M18a	N17a	S23a		
10:54	Y31a	W126b-W128b	V108a	L14a	M19b-M21b	N18b-N20b	S24a		
11:06	Y32a	W129a	V109b-V111b	L15a	M22b	N21b-N23b	S25a		
11:18	Y33a	W130a	V114b-V116b	L16a	-	N24b, N25b	S26a		
11:30	Y34a	W131b-W133b	-	-	-	-	S27b, S28b		
11:42	Y35b	W134b	-	-	-	-	-		
11:30	ポスター								
12:30	昼休み(評議員会)								
開始時刻	【高密度星】	【飛翔観】	【地上観】	【星・惑星】	【太陽】	【銀河形成】	【銀河核】	【プラズマ】	
13:30	J01a	W135a	V117a	P101a	M27a	X01a	S29a	A24a )	ジュニアセッション
13:42	J02b-J04b	W136a	V118a	P102a	M28a	X02a	S30a		
13:54	J05a	W137a	V119a	P103a	M29a	X03a	S31a		
14:06	J06a	W201a	V120a	P104b-P106b	M30a	X04a	S32a		
14:18	J07a	W202b-W204b	V121a	P107a	M31a	X05b, X06b	S33a		
14:30	J08a	W206a	V122a	P108a	M32a	X08a	S34a		
14:42	J09a	W208b-W210b	V123b-V125b	P109a	M33a	X09a	S35a		
14:54	J10a	W212b-W214b	V130b-V132b	P110a	M34a	X10a	S36a		
15:06	J11a	W215b, W216b W219b	V134b-V136b	P111a	M35a	X11a	S37a		
15:18	J12b-J14b	W220b, W221b	V137b-V139b	P112a	-	X12a	S38a		
15:45	受賞記念講演(3号館)								
16:30	総会(3号館)								

## 口頭セッション 3月21日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場		
開始時刻	【高密度星】	【飛翔観】	【地上観】	【星・惑星】	【太陽】	【銀河形成】	【アストロH】	【プラズマ】		
09:30	J15a	W222a	V201a	P113a	M36a	X13a	B01a	A32a		
09:42	J16a	W223a	V202a	P114a	M37a	X14a				
09:54	J17a	W224a	V203b-V205b	P115a	M38a	X15a				
10:06	J18a	W225a	V206a	P116a	M39a	X16a				
10:18	J19a	W226a	V207b-V209b	P117a	M40a	X17a				
10:30	J20a	W227a	V210b-V212b	P118a	M41a	X18a				
10:42	J25b-J27b	W228a	V213a	P119a	M42a	X19a			B08a	A43a
10:54	J28a	W229b-W231b	V216a	P120a	M43a	X20a				
11:06	J29a	W232a	V217b-V219b	P121a	M44a	X21b-X23b				
11:18	J30b, J31b	W233a	V220b, V221b	P122a	-	X24b, X25b				
11:30	-	W234b-W236b	-	P123b-P125b	-	-	-	-		
11:30	ポスター									
12:30	昼休み									
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【銀河形成/ 宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】		
13:30	J33a	R01a	V222a	P127a	Q01a	X27a	B09a	A45a		
13:42	J34a	R02a	V225a	P128a	Q02a	X28a				
13:54	J35a	R03a	V226b-V228b	P129a	Q03a	X29a				
14:06	J36a	R04a	V229a	P130a	Q04a	X30a				
14:18	J37a	R05a	V230a	P131a	Q05a	X31a				
14:30	J38a	R06a	V231b-V233b	P132b-P134b	Q06a	U01a				
14:42	J39a	R07a	V234a	P135b, P136b	Q07a	U02a			B18a	A58b
14:54	J40a	R11a	V235a	P201b-P203b	Q08a	U03a				
15:06	J41a	R12a	V236b-V238b	P204b-P206b	Q09a	U04b-U06b				
15:18	J42b-J44b	R13b, R14b R16b	V239a	P207b, P208b	Q10b-Q12b	U07b-U09b				
15:30	-	R17b	-	-	Q13b	-	-	-		
15:45	TMT 特別セッション (H会場)									
17:45	懇親会									

## 口頭セッション 3月22日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】
09:30	J48a	R18a	V241a	P209a	Q14a	U10a	B19r ) B27a	A60a ) A68b
09:42	J49a	R19a	V242a	P210a	Q15a	U11a		
09:54	J50a	R20a	V243a	P211a	Q16a	U12a		
10:06	J51a	R24a	V244a	P212a	Q17a	U13a		
10:18	J52a	R25a	V245a	P213a	Q18a	U14a		
10:30	J53a	R26a	V246a	P214a	Q19a	U15a		
10:42	J54a	R27a	V247a	P215a	Q20a	U16a		
10:54	J55a	R28a	V248a	P216a	Q21a	U17a		
11:06	J56a	R29a	V249a	P217a	Q22a	U18a		
11:18	J57a	R30a	V250a	P218a	Q23a	U19a		
11:30	-	R31a	-	-	Q24a	-		
11:42	-	-	-	-	Q25a	-		
11:30	ポスター							
12:30	昼休み							
開始時刻	【高密度星】	【銀河】	【地上観】	【星・惑星】	【星間現象】	【宇宙論】	【アストロH】	【プラズマ】
13:30	J58a	R32a	V140a	P219a	Q28a	U20a	B28a ) B36a	A72a ) A85b
13:42	J59a	R33a	V141a	P220a	Q29a	U21a		
13:54	J60a	R34a	V142a	P221a	Q30a	U22a		
14:06	J61a	R35a	V143a	P222a	Q31a	U23a		
14:18	J62a	R36a	V144a	P223a	Q32a	U24a		
14:30	J63a	R37a	V145a	P224a	Q33a	U25a		
14:42	J64a	R38a	V146a	P225a	Q34a	U26a		
14:54	J65a	R39a	V147a	P226a	Q35a	U27a		
15:06	-	R40a	V148a	P227a	Q36a	U28a		
15:18	-	R41a	-	P228a	Q37a	-		

## ポスターセッション 3月19日(月) ~ 3月22日(木)

## 404 ~ 407 教室

## 【ジュニアセッション】

## 408 教室

## 【プラズマ】(18)

A07b	A08b	A10b	A11b	A12b
A22b	A23b	A30b	A31b	A34c
A38b	A40b	A41b	A42b	A44c
A49b	A50b	A51b		

## 409 教室

## 【プラズマ】(18)

A52b	A56b	A57b	A58b	A59c
A68b	A69c	A70c	A71c	A75b
A76c	A80b	A81b	A82b	A83b
A84b	A85b	A86c		

## 305 教室

## 【高密度星】(22)

J02b	J03b	J04b	J12b	J13b
J14b	J21c	J22c	J23c	J24c
J25b	J26b	J27b	J30b	J31b
J32c	J42b	J43b	J44b	J45c
J46c	J47c			

## 306 教室

## 【超新星爆発】(7)

K07b	K08b	K09b	K10b	K11b
K12c	K13c			

## 【太陽系】(5)

L03b	L06b	L07c	L08b	L09b
------	------	------	------	------

## 【太陽】(11)

M05b	M06b	M07b	M19b	M20b
M21b	M22b	M23c	M24c	M25c
M26c				

## 307 教室

## 【恒星】(9)

N18b	N19b	N20b	N21b	N22b
N23b	N24b	N25b	N26c	

## 【星・惑星形成】(12)

P104b	P105b	P106b	P123b	P124b
P125b	P126c	P132b	P133b	P134b
P135b	P136b			

## 308 教室

## 【星・惑星形成】(9)

P201b	P202b	P203b	P204b	P205b
P206b	P207b	P208b	P229c	

## 【星間現象】(6)

Q10b	Q11b	Q12b	Q13b	Q26c
Q27c				

## 309 教室

## 【銀河】(13)

R08c	R09c	R10c	R13b	R14b
R15c	R16b	R17b	R21c	R22c
R23c	R42c	R43c		

## 【活動銀河核】(9)

S10b	S11b	S12b	S13c	S16c
S19c	S22c	S27b	S28b	

## 310 教室

## 【銀河団】(1)

T09b

## 【宇宙論】(6)

U04b	U05b	U06b	U07b	U08b
U09b				

## 【銀河形成】(9)

X05b	X06b	X07c	X21b	X22b
X23b	X24b	X25b	X26c	

## 【PDL】

## 【最新情報コーナー】



ポスターセッション 3月19日(月) ~ 3月22日(木)

### 205 教室

【地上観測機器】(15)

V109b V110b V111b V112c V113c  
 V114b V115b V116b V123b V124b  
 V125b V126c V127c V128c V129c

#### 【展示コーナー】

アキリスジャパン (株)

(株) アド・サイエンス

ALMA

### 206 教室

【地上観測機器】(24)

V130b V131b V132b V133c V134b  
 V135b V136b V137b V138b V139b  
 V203b V204b V205b V207b V208b  
 V209b V210b V211b V212b V214c  
 V215c V217b V218b V219b

### 207 教室

【地上観測機器】(15)

V220b V221b V223c V224c V226b  
 V227b V228b V231b V232b V233b  
 V236b V237b V238b V240c V251c

#### 【展示コーナー】

Exelis VIS (株)

(株) オハラ

### 208 教室

【飛翔体観測機器】(22)

W104b W105b W106b W113b W114b  
 W115b W120c W121c W122c W126b  
 W127b W128b W131b W132b W133b  
 W134b W202b W203b W204b W205c  
 W207c W208b

### 209 教室

【飛翔体観測機器】(22)

W209b W210b W211c W212b W213b  
 W214b W215b W216b W217c W218c  
 W219b W220b W221b W229b W230b  
 W231b W234b W235b W236b W237c  
 W238c W239c

### 210 教室

【天文教育・他】(17)

Y02b Y03b Y04b Y08b Y09b  
 Y10c Y11b Y12c Y13c Y14b  
 Y15b Y16b Y20c Y21c Y22b  
 Y23b Y35b

#### 【展示コーナー】

(株) 渡辺教具製作所

## A. プラズマ

3月19日(月) 午後・H会場	3月20日(火) 午前・H会場
13:00 <b>A01a</b> 超新星残骸と粒子加速・24分 大平 豊 (高エネルギー加速器研究機構)	09:30 <b>A13a</b> パルサー磁気圏研究最前線・24分 柴田晋平 (山形大学)
13:24 <b>A02a</b> 衝撃波と超相対論的粒子加速・24分 大澤幸治 (名古屋大学)	09:54 <b>A14a</b> 巨大電波パルス観測による Crab パルサー磁気圏・Crab Nebula のプラズマ診断・12分 寺澤敏夫 (東京大学)
13:48 <b>A03a</b> プラズマ衝撃による沿磁力線加速・12分 竹内 智 (山梨大学)	10:06 <b>A15a</b> 多重極磁場を考慮した中性子星磁気圏の構造(1)・12分 藤澤幸太郎 (東京大学)
14:00 <b>A04a</b> 宇宙線で加熱された銀河団コアからの放射・12分 藤田 裕 (大阪大学)	10:18 <b>A16a</b> 多重極磁場を考慮した中性子星磁気圏の構造(2)・12分 和田智秀 (国立天文台)
14:12 <b>A05a</b> Interactions Between the Hot Plasmas and Galaxies in Clusters I・12分 牧島一夫(東京大学/理化学研究所)	10:30 <b>A17a</b> イオンスケールのミニ磁気圏構造・12分 中村雅夫 (大阪府立大学)
14:24 <b>A06a</b> Interactions Between the Hot Plasmas and Galaxies in Clusters II・12分 Gu Liyi(東京大学)	10:42 <b>A18a</b> 太陽風と局所的磁場を持つ誘電物体との相互作用に関するブラソフシミュレーション・12分 伊藤陽介 (名古屋大学)
14:36 <b>A07b</b> フィラメント・モデルに基づく Mrk 501 の X 線スペクトル・3分 本田康子 (近畿大学工業高等専門学校)	10:54 <b>A19a</b> 低周波 Alfvén 乱流を含む太陽風イオン温度異方性モデル・12分 成行泰裕 (高知工業高等専門学校)
14:39 <b>A08b</b> 宇宙線変成衝撃波の構造の時間発展について・3分 斎藤達彦 (東京大学)	11:06 <b>A20a</b> 昔の太陽風に関して・12分 鈴木 建 (名古屋大学)
14:42 <b>A09a</b> 多イオン種プラズマ中の高位相速度波動の励起と粒子加速・12分 松清修一 (九州大学)	11:18 <b>A21a</b> Continuous H-Alpha Imaging Network (CHAIN) による太陽活動の地上観測と、フレア、衝撃波の解析概要・12分 上野 悟 (京都大学)
14:54 <b>A10b</b> 実験室プラズマ中の間欠的高エネルギー電子群放出現象の空間構造・3分 吉田裕貴 (九州大学)	11:30 <b>A22b</b> 地球磁気圏における磁気リコネクションとサブストーム大域構造・3分 田 光江 (情報通信研究機構)
14:57 <b>A11b</b> 実験室プラズマ中の間欠的高エネルギー電子群放出現象の統計解析・3分 吉村信次 (核融合科学研究所)	11:33 <b>A23b</b> 数値シミュレーションを用いた太陽高エネルギー粒子フラックスの予測モデルについて・3分 久保勇樹 (情報通信研究機構)
15:00 <b>A12b</b> 超音速プラズマ流におけるイオン比熱比の推定・3分 橋間裕子 (東北大学)	

3月20日(火) 午後・H会場			
13:30	<b>A24a</b> レーザー宇宙物理とは何か・24分 高部英明(大阪大学)	10:30	<b>A36a</b> 原始惑星系円盤の磁気回転不安定性に弱電離プラズマ放電が及ぼす影響・12分 村主崇行(京都大学)
13:54	<b>A25a</b> 高マッハ数無衝突衝撃波実験の現状・24分 蔵満康浩(大阪大学)	10:42	<b>A37a</b> 無衝突系降着円盤での磁気回転不安定と粒子加速・12分 星野真弘(東京大学)
14:18	<b>A26a</b> 超高強度レーザーによる真空崩壊と電子対プラズマ生成・24分 加藤恒彦(広島大学)	10:54	<b>A38b</b> 粒子効果を伴う磁気回転不安定性の非線型発展・3分 白川慶介(東京大学)
14:42	<b>A27a</b> 天文コミュニティ側から実験室宇宙物理に期待すること・12分 山崎 了(青山学院大学)	10:57	<b>A39a</b> 銀河中心電波アーク構造のMHDシミュレーション・12分 玉澤春史(京都大学)
15:00	<b>A28a</b> 太陽風中の共回転相互作用領域境界におけるpickup ionの加速・12分 坪内 健(東京大学)	11:09	<b>A40b</b> 冷却効果を考慮した磁気タワージェットと星間ガス相互作用の磁気流体シミュレーション・3分 朝比奈雄太(千葉大学)
15:12	<b>A29a</b> 垂直衝撃波の再形成・12分 梅田隆行(名古屋大学)	11:12	<b>A41b</b> 3次元磁気流体力学シミュレーションを用いた渦巻き銀河の大局的磁場構造モデルの構築・3分 中村 翔(東北大学)
15:24	<b>A30b</b> 非線形磁気音波の急峻化と分散におけるイオン組成の効果・3分 樋田美栄子(名古屋大学)	11:15	<b>A42b</b> 宇宙線の影響を受けたパーカー不安定性の数値シミュレーション・3分 工藤哲洋(国立天文台)
15:27	<b>A31b</b> 衝撃波上流域での粒子拡散現象・3分 杉山 徹(海洋研究開発機構)	11:18	<b>A43a</b> Nonlinear Dynamics of the Magnetic Rayleigh-Taylor Instability in Prominences・12分 Andrew Hillier(京都大学)
<b>3月21日(水) 午前・H会場</b>			<b>A44c</b> X線連星状態遷移時の明るいHard状態に関するMHD数値実験 町田真美(九州大学)
09:30	<b>A32a</b> 雷放電に伴う電磁気現象・24分 芳原容英(電気通信大学)		
09:54	<b>A33a</b> グロー放電プラズマ中のダストの磁気的挙動・12分 林 康明(京都工芸繊維大学)		
	<b>A34c</b> 弱電離プラズマにおける磁気リコネクション:非一様・非定常電離の効果 磯部洋明(京都大学)		
10:06	<b>A35a</b> 磁気乱流が駆動する降着円盤の熱力学・24分 廣瀬重信(海洋研究開発機構)		

3月21日(水) 午後・H会場			
13:30	<b>A45a</b> 磁化プラズマにおける乱流と構造形成・24分 藤澤彰英(九州大学)	15:18	<b>A56b</b> 磁気乱流分子雲コアにおける原始星と原始惑星系円盤の形成・3分 松本倫明(法政大学)
13:54	<b>A46a</b> 一様等方減衰性 Hall MHD 乱流の統計的性質・12分 三浦英昭(核融合科学研究所)	15:21	<b>A57b</b> Clump を伴う分子雲ループ形成シミュレーション・3分 鈴木宏聡(茨城大学)
14:06	<b>A47a</b> 乱流による磁気リコネクション・12分 石澤明宏(核融合科学研究所)	15:24	<b>A58b</b> Richtmyer-Meshkov 不安定による星間磁場の増幅機構・3分 佐野孝好(大阪大学)
14:18	<b>A48a</b> パルサー星雲の乱流による磁場散逸の加速・12分 高本 亮(京都大学)		<b>A59c</b> 拡張磁気流体モデルを用いた Rayleigh-Taylor/Kelvin-Helmholtz 不安定性の解析 伊藤 淳(核融合科学研究所)
14:30	<b>A49b</b> Relaxation of Pulsar Wind Nebula via Current-Driven Instability・3分 水野陽介(National Tsing-Hua Univ.)	<b>3月22日(木) 午前・H会場</b>	
14:33	<b>A50b</b> 磁気圏型プラズマの短波長 MHD 安定性に対するプラズマ回転効果の分析・3分 古川 勝(東京大学)	09:30	<b>A60a</b> 最新の太陽観測で探る太陽大気の加熱機構・24分 勝川行雄(国立天文台)
14:36	<b>A51b</b> 回転球殻乱流場における大規模流れ場生成実験・3分 永岡賢一(核融合科学研究所)	09:54	<b>A61a</b> 2011年8月9日の巨大フレアに伴う H $\alpha$ 線モートン波と EUV 波現象、およびプロミネンス振動について・12分 浅井 歩(京都大学)
14:39	<b>A52b</b> 不均一磁場領域におけるプラズマの流れ場と電磁場の構造形成・3分 寺坂健一郎(九州大学)	10:06	<b>A62a</b> 太陽マイクロフレア・彩層ジェットを起こす磁場形状・12分 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)
14:42	<b>A53a</b> アルフベン波の運動量と Abraham-Minkowski パラドックス・12分 中村 匡(福井県立大学)	10:18	<b>A63a</b> 磁気リコネクション・カスプ構造のひので極端紫外線分光観測・12分 西塚直人(宇宙航空研究開発機構)
14:54	<b>A54a</b> 磁気流体力学における中間衝撃波の発展性条件について・12分 犬塚修一郎(名古屋大学)	10:30	<b>A64a</b> 2次元 MHD シミュレーションを用いた、彩層中の磁気リコネクションにともなう彩層アネモネジェットの発生シナリオの研究・12分 高棹真介(京都大学)
15:06	<b>A55a</b> 磁気星間雲中での星周円盤の形成・12分 町田正博(九州大学)	10:42	<b>A65a</b> 突発現象としての太陽フレア～トーラスプラズマとの共通性について～・12分 草野完也(名古屋大学)

10:54	<b>A66a</b>	Self-Organization of Reconnecting Plasma to a Marginally Collisionless State in Solar Corona・12分 今田晋亮 (宇宙航空研究開発機構)	<b>A76c</b>	無衝突磁気リコネクションの電子拡散領域問題再考 銭谷誠司 (国立天文台)	
11:06	<b>A67a</b>	磁気リコネクション室内実験の進展・24分 井 通暁 (東京大学)	14:21	<b>A77a</b>	HPC/HPCI の状況と今後の取り組み・24分 荻野竜樹 (名古屋大学)
11:30	<b>A68b</b>	磁気リコネクション実験におけるイオンサイクロトロン周波数帯の磁場揺動の発生・3分 桑波田晃弘 (東京大学)	14:45	<b>A78a</b>	局所ジャイロ運動論的シミュレーションモデルとその数値解法・12分 渡邊智彦 (核融合科学研究所)
	<b>A69c</b>	TS-4 プラズマ合体実験を用いた非定常リコネクション機構の検証 門脇和丈 (東京大学)	14:57	<b>A79a</b>	マルチモーメント移流法を用いた磁化プラズマのブラソフシミュレーション・12分 蓑島 敬 (海洋研究開発機構)
	<b>A70c</b>	A "Dandelion" Filament Eruption and Coronal Waves associated with the 2011 February 16 Solar Flare 柴田一成 (京都大学)	15:09	<b>A80b</b>	HLLD 近似リーマン解法における衝撃波数値異常への処方・3分 三好隆博 (広島大学)
	<b>A71c</b>	A 3-Dimensional View of the Filament Eruption and Coronal Mass Ejection associated with the 2011 March 8 Solar Flare 北井礼三郎 (京都大学)	15:12	<b>A81b</b>	宇宙磁気流体・プラズマシミュレーションソフトウェアの拡充・3分 松元亮治 (千葉大学)
<b>3月22日(木) 午後・H会場</b>			15:15	<b>A82b</b>	輻射輸送の M1 モデルの数値解とその特性・3分 菅野裕次 (千葉大学)
13:30	<b>A72a</b>	磁気リコネクションのシミュレーション研究・24分 銭谷誠司 (国立天文台)	15:18	<b>A83b</b>	相対論的抵抗性輻射磁気流体コードの開発とその応用・3分 高橋博之 (国立天文台)
13:54	<b>A73a</b>	スフェロマック合体の粒子シミュレーション・12分 堀内利得 (核融合科学研究所)	15:21	<b>A84b</b>	超並列電磁粒子コードによる高マッハ数衝撃波における電子加速・3分 松本洋介 (千葉大学)
14:06	<b>A74a</b>	無衝突磁気リコネクションの多階層シミュレーション II・12分 宇佐見俊介 (核融合科学研究所)	15:24	<b>A85b</b>	2次元衝撃波面構造が与える電子波乗り加速への影響・3分 長谷部英賢 (千葉大学)
14:18	<b>A75b</b>	自己相似リコネクションモデルの相対論化・3分 新田伸也 (筑波技術大学)		<b>A86c</b>	音速抑制法による太陽内部対流数値計算 2 堀田英之 (東京大学)

## B. アストロH

3月21日(水) 午前・G会場	3月21日(水) 午後・G会場
09:30 <b>B01a</b> 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H・20 分 高橋忠幸 (宇宙航空研究開発機構)	13:30 <b>B09a</b> すばる主焦点広視野カメラ Hyper Suprime-Cam による銀河団サーベイと Astro-H とのシナジー・12 分 大栗真宗 (東京大学)
09:50 <b>B02a</b> ASTRO-H SXS (Soft X-ray Spectrometer) による X 線超精密分光観測・20 分 満田和久 (宇宙航空研究開発機構)	13:42 <b>B10a</b> ASTRO-H で診る銀河団の進化に伴う 銀河団ガスの加熱と粒子加速・12 分 川原田 円 (宇宙航空研究開発機構)
10:10 <b>B03r</b> Dynamics of galaxy clusters and expectations from Astro-H・20 分 Maxim Markevitch (NASA/ Goddard Space Flight Center)	13:54 <b>B11a</b> ASTRO-H で探る銀河、銀河団の化 学進化・12 分 松下恭子 (東京理科大学)
10:30 <b>B04a</b> Astro-H で探る銀河団の衝撃波加熱と 非平衡プラズマ・12 分 赤堀卓也 (韓国天文研究院)	14:06 <b>B12r</b> 元素合成と化学進化-可視分光観測と X 線観測・12 分 青木和光 (国立天文台)
10:42 <b>B05a</b> ASTRO-H で探る衝突銀河団の動的な 姿と高エネルギー現象・12 分 滝沢元和 (山形大学)	14:18 <b>B13a</b> Astro-H で視る超新星元素合成の現 場・12 分 前田啓一 (東京大学)
10:54 <b>B06a</b> ASTRO-H SXS による X 線精密分光 観測で挑む銀河団形成・進化過程・ 12 分 赤松弘規 (首都大学東京)	14:30 <b>B14a</b> Astro-H に向けて XMM-Newton/RGS で試みる SNR のプラズマ診断・12 分 勝田 哲 (理化学研究所)
11:06 <b>B07a</b> Astro-H で探る銀河団中心における共 鳴散乱の直接観測・12 分 小波さおり (理化学研究所 / 東京 理科大学)	14:42 <b>B15a</b> ASTRO-H/SXS の超精密分光による 新しい SNR 進化メカニズムの解明・ 12 分 澤田真理 (京都大学)
11:18 <b>B08a</b> ALMA と ASTRO-H の連携で探る宇宙 の構造形成・12 分 北山 哲 (東邦大学)	14:54 <b>B16a</b> Development of Plasma Codes for High-Resolution X-Ray Spectroscopy and Prospects for Future Observations of Non-Equilibrium Plasma・12 分 山口弘悦 (Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics)
	15:06 <b>B17a</b> 広帯域非分散分光撮像がもたらす超 新星残骸研究の展開・12 分 政井邦昭 (首都大学東京)
	15:18 <b>B18a</b> 天の川銀河中心領域の拡散 X 線放射 の起源: 高温プラズマと宇宙線・12 分 鶴 剛 (京都大学)

3月22日(木) 午前・G会場		3月22日(木) 午後・G会場	
09:30	<b>B19r</b> Nonthermal Astrophysics with ASTRO-H・20分 Felix Aharonian (DIAS/Dublin and MPIK/Heidelberg)	13:30	<b>B28a</b> 隠れた活動銀河核と超巨大ブラックホールの宇宙論的進化・20分 上田佳宏 (京都大学)
09:50	<b>B20a</b> A Generalized Model of Nonlinear Diffusive Shock Acceleration Coupled to an Evolving Supernova Remnant・12分 Shiu-Hang (Herman) Lee (京都大学)	13:50	<b>B29a</b> X線天文衛星 ASTRO-H で確立する AGN セントラルエンジンの新描像・12分 野田博文 (東京大学)
10:02	<b>B21a</b> X線ガンマ線偏光観測で探る粒子加速・12分 水野恒史 (広島大学)	14:02	<b>B30a</b> ASTRO-H と電波連続波観測で挑む活動銀河核ブラックホール周辺の現象・12分 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)
10:14	<b>B22a</b> ASTRO-H 衛星と次世代ガンマ線望遠鏡 CTA で切り拓くガンマ線連星・12分 寺田幸功 (埼玉大学)	14:14	<b>B31a</b> ブラックホールへの相対論的降着流と Astro-H 衛星・12分 嶺重 慎 (京都大学)
10:26	<b>B23a</b> Will ASTRO-H allow us to “X-ray” TeV binary systems?・12分 Dmitry Khangulyan (宇宙航空研究開発機構)	14:26	<b>B32a</b> ASTRO-H 衛星と X 線偏光衛星 GEMS で迫るブラックホールの激しい時間変動の起源・12分 山田真也 (理化学研究所)
10:38	<b>B24a</b> Observing the detailed connection between accretion and outflows in X-ray binaries using multiwavelength coordination with ASTRO-H・12分 Poshak Gandhi (宇宙航空研究開発機構)	14:38	<b>B33a</b> Astro-H 衛星による超高光度 X 線点源の起源の解明・12分 吉田鉄生 (京都大学)
10:50	<b>B25a</b> Gamma-ray Loud AGN in the Era of ASTRO-H・12分 Lukasz Stawarz (宇宙航空研究開発機構)	14:50	<b>B34a</b> ASTRO-H で切り拓く中性子星の核物質研究・12分 玉川 徹 (理化学研究所)
11:02	<b>B26a</b> クェーサー吸収線系と ASTRO-H 衛星・20分 三澤 透 (信州大学)	15:02	<b>B35a</b> 中性子星低質量連星系の共通する描像と重力赤方偏移領域・12分 松岡 勝 (理化学研究所)
11:22	<b>B27a</b> AGN Outflow; ASTRO-H で解明する活動銀河核の新描像・12分 大須賀 健 (国立天文台)	15:14	<b>B36a</b> ASTRO-H で拓く太陽系天体の物理・12分 江副祐一郎 (首都大学東京)

## J. 高密度星

3月20日(火) 午後・A会場			
13:30	<b>J01a</b> 新しく発見された特異な WZ Sge 型矮新星 OT J184228 の測光観測 大島誠人 (京都大学)	15:18	<b>J12b</b> MAXIによる Be 型 X 線連星 GX 304-1 の観測と Be 星の星周円盤ジオメトリの解釈 山本堂之(日本大学/理化学研究所)
13:42	<b>J02b</b> WZ Sge 型矮新星 BW Scl の superoutburst 時における測光観測 大島誠人 (京都大学)	15:18	<b>J13b</b> MAXIによる Be 型 X 線連星パルサーのアウトバーストの観測 五月女哲哉 (芝浦工業大学/理化学研究所)
13:42	<b>J03b</b> 古典新星 V1723 Aql の可視光近赤外線観測 長島雅佳 (京都産業大学)	15:18	<b>J14b</b> クランプ状星風モデルにおける Super-giant Fast X-ray Transient の X 線フレア発生確率 鴈野重之 (九州産業大学)
13:42	<b>J04b</b> 複数の極大を示す古典新星 V5588 Sgr の光度曲線 今村和義 (岡山理科大学)	<b>3月21日(水) 午前・A会場</b>	
13:54	<b>J05a</b> 周縁減光および電子散乱を考慮した新星スペクトルの計算 II 小倉和幸 (大阪教育大学)	09:30	<b>J15a</b> 弱磁場中性子星を含む低質量X線連星系の High/Soft 状態における質量降着流の振る舞い 高橋弘充 (広島大学)
14:06	<b>J06a</b> MAXIによる古典新星 V407 Cyg からの X 線 島ノ江 純 (九州大学)	09:42	<b>J16a</b> MAXI/GSC と Swift/BAT による低質量 X 線連星 4U 1608-52 と Aql X-1 からのアウトバーストの観測—ソフト状態と立ち下がりハード遷移— 浅井和美 (理化学研究所)
14:18	<b>J07a</b> 軟 X 線トランジェント MAXI J0158-744 の発見 森井幹雄 (東京工業大学)	09:54	<b>J17a</b> すざくと Newton を用いた CCO 1E1207.4-5409 のスペクトル構造の研究 高橋一郎 (青山学院大学)
14:30	<b>J08a</b> Intermediate Polar における新しい降着柱モデルの構築 林 多佳由 (宇宙航空研究開発機構/首都大学東京)	10:06	<b>J18a</b> ガンマ線連星 LS 5039 における X 線放射機構 山口正輝 (大阪大学)
14:42	<b>J09a</b> MAXIによる球状星団 Terzan 5 中の X 線連星 EXO 1745-248 のスーパーバーストとそれに誘起されたアウトバーストの観測 芹野素子 (理化学研究所)	10:18	<b>J19a</b> 混合磁場を伴った中性子星の安定性について 木内建太 (京都大学)
14:54	<b>J10a</b> X 線連星パルサー 4U0115+63 のアウトバースト中のサイクロトロン共鳴線の振る舞い 中島基樹 (日本大学)	10:30	<b>J20a</b> 軟 $\gamma$ 線リピータの巨大フレア現象と核物質状態方程式 祖谷 元 (国立天文台)
15:06	<b>J11a</b> MAXI、Swift、RXTE で観測された中性子星 X 線連星 MAXI J0556-332 の 1 年間のスペクトル変化 杉崎 睦 (理化学研究所)		<b>J21c</b> カラー超伝導の核を持つハイブリッド星の熱的進化 野田常雄 (九州大学)



		3月21日(水) 午後・A会場	
	<b>J22c</b> 「すざく」衛星・HETE-2衛星によるマグネターのバースト/定常放射のX線スペクトルの研究 中川友進(早稲田大学)	13:30	<b>J33a</b> 電子陽電子宇宙線によるミリ秒パルサーの磁気圏構造の研究 木坂将大(広島大学)
	<b>J23c</b> ホールドリフト期の磁場を示す SGR0418+5729 小嶋康史(広島大学)	13:42	<b>J34a</b> “Radio-quiet”ミリ秒パルサー候補 1FGL J2339.7-0531の多波長観測(I): X線・ガンマ線観測 高橋洋輔(早稲田大学)
	<b>J24c</b> マグネター磁気アーケードの相対論的 Force-Free 数値実験 浅野栄治(国立天文台)	13:54	<b>J35a</b> “Radio-quiet”ミリ秒パルサー候補 1FGL J2339.7-0531の多波長観測(II): 可視・赤外連携観測 谷津陽一(東京工業大学)
10:42	<b>J25b</b> 赤外線天文衛星あかりによるマグネター 4U0142+61の観測的研究 金子健太(工学院大学)	14:06	<b>J36a</b> 高銀緯フェルミ未同定ガンマ線源のX線系統探査 前田洸登(早稲田大学)
10:42	<b>J26b</b> すざく衛星による HESS J1832-084 の X線観測 松本浩典(名古屋大学)	14:18	<b>J37a</b> ULXの超臨界降着流モデル: アウトフロー低温電子のコンプトン散乱によるスペクトル再現 川島朋尚(千葉大学)
10:42	<b>J27b</b> パルサーの距離情報を用いた銀河系内電離ガス密度分布推定 亀谷 収(国立天文台)	14:30	<b>J38a</b> 高光度降着流からのアウトフロー: 放射流体および放射磁気流体シミュレーション結果の比較 平石 平(京都大学)
10:54	<b>J28a</b> 抵抗のあるパルサー磁気圏の数値計算の可能性 加藤祐悟(広島大学)	14:42	<b>J39a</b> 高光度ブラックホール降着流から吹く clumpy アウトフローの形成機構 竹内 駿
11:06	<b>J29a</b> MAGIC 報告4: かにパルサーの高エネルギーガンマ線スペクトラム(2) 齋藤隆之(Max-Planck-Institut für Physik)	14:54	<b>J40a</b> 光学的に薄い磁気圧優勢二温度降着円盤モデルの明るい Hard-to-Soft 遷移への適用 小田 寛(国立天文台)
11:18	<b>J30b</b> Crab パルサーの二周波同時観測による Dispersion Measure の精密決定 三上 諒(東京大学)	15:06	<b>J41a</b> ブラックホール候補天体 MAXI J1836194 の発見とフォローアップ観測 中平聡志(理化学研究所)
11:18	<b>J31b</b> Crab パルサー巨大電波パルスの受ける群遅延・散乱効果の時間変動とその相関解析 山越陽介(東京工業大学)	15:18	<b>J42b</b> 最も近傍の大光度 X線源 M33 X-8 の「すざく」による観測 磯部直樹(宇宙航空研究開発機構)
	<b>J32c</b> かに星雲の fermi flare のジッター放射による解釈 寺木悠人(大阪大学)		

15:18	<b>J43b</b>	「すざく」による GX339-4 と MAXI J1659-152 の very high state の観測 田村愛美 (芝浦工業大学)	10:42	<b>J54a</b>	超相対論的に膨張する物質と星周物質の衝突の初期進化 茂山俊和 (東京大学)
15:18	<b>J44b</b>	Suzaku WAM を用いたショートGRBの光度曲線の研究 上原岳士 (広島大学)	10:54	<b>J55a</b>	希薄波が相対論的高温ジェットに与える影響 松本 仁 (京都大学)
	<b>J45c</b>	大質量星終焉時に起こされるバースト現象の金属量による違い 仲内大翼 (京都大学)	11:06	<b>J56a</b>	Structured jet からの photospheric 放射 伊藤裕貴 (京都大学)
	<b>J46c</b>	相対論的平行平板流における輻射輸送：散乱の影響 福江 純 (大阪教育大学)	11:18	<b>J57a</b>	ガンマ線バーストの大質量降着円盤モデルに基づくジェット光度の評価 川中宣太 (Hebrew University of Jerusalem)
	<b>J47c</b>	流体実験による降着円盤の再現 津田裕也 (明星大学)	<b>3月22日 (木) 午後・A会場</b>		
<b>3月22日 (木) 午前・A会場</b>					
09:30	<b>J48a</b>	有限厚さの降着円盤での vertical p-mode 振動と準周期振動 加藤正二	13:30	<b>J58a</b>	ガンマ線バーストにおけるハドロン起源放射の光度曲線 浅野勝晃 (東京工業大学)
09:42	<b>J49a</b>	BH-Disk 系の一般相対論的 $\nu$ 輻射磁気流体力学シミュレーション 関口雄一郎 (京都大学)	13:42	<b>J59a</b>	長いガンマ線バーストの新しい分類法 筒井 亮 (東京大学)
09:54	<b>J50a</b>	一般相対論的 MHD 計算による Blandford-Znajek 効果の検証：富松・高橋磁場解の場合 眞榮田義臣 (京都大学)	13:54	<b>J60a</b>	long GRB ジェットの長時間進化計算と放射機構への示唆 鈴木昭宏 (東京大学)
10:06	<b>J51a</b>	理想MHD Riemann 問題の解の非一意性と安定性 高橋和也 (早稲田大学)	14:06	<b>J61a</b>	ガンマ線バースト偏光検出器 (GAP) による系統的な偏光解析 米徳大輔 (金沢大学)
10:18	<b>J52a</b>	ブラックホール近傍における磁気リコネクションの数値計算 小出眞路 (熊本大学)	14:18	<b>J62a</b>	「すざく」衛星搭載広帯域全天モニター WAM による GRB カタログ構築 I 大森法輔 (宮崎大学)
10:30	<b>J53a</b>	Sgr.A* 直接観測のための理論：一般相対論的に正確な理論へ向けて 齊田浩見 (大同大学)	14:30	<b>J63a</b>	MAXI/GSC による X 線突発天体の探索 戸泉貴裕 (東京工業大学)
			14:42	<b>J64a</b>	全天 X 線監視装置 MAXI の速報システムの改良と成果 諏訪文俊 (日本大学)
			14:54	<b>J65a</b>	すざく衛星による「ガンマ線ローブ」NGC6251 の観測 竹内勇人 (早稲田大学)

## K. 超新星爆発

3月19日(月) 午後・D会場			
13:00	<b>K01a</b> 大質量CO星の非球対称爆発 大北晨平 (東京大学)	14:24	<b>K11b</b> 超新星における多次元輻射輸送計算 前田 啓一 (東京大学)
13:12	<b>K02a</b> 重力崩壊型超新星の超相対論的 shock breakoutによる高エネルギー光子の発生 大谷友香理 (東京大学)		<b>K12c</b> 核密度以下における原子核物質の非 一様構造の多次元計算 中里健一郎 (東京理科大学)
13:24	<b>K03a</b> 「すざく」によるLMC内の超新星残骸 N103BとSNR 0519-69.0の観測 吉井理恵 (理化学研究所 / 東京理 科大学)		<b>K13c</b> 超新星爆発による衝撃波と星周物質と の相互作用が元素分布に与える影響 松尾康秀 (九州大学)
13:36	<b>K04a</b> Infrared observations of supernova remnant Kes 17 Lee Ho-Gyu (東京大学)		
13:48	<b>K05a</b> 大学間連携観測ネットワークによる近 傍銀河M101に出現したIa型超新星 SN 2011fe/PTF11klyの爆発直後から の連続可視近赤外線観測 山中雅之 (広島大学)		
14:00	<b>K06a</b> 非常に明るい超新星SN 2006gyの超 新星爆発噴出物と星周物質の衝突に よる光度曲線モデル 守屋 堯 (東京大学)		
14:12	<b>K07b</b> 高密度星周物質中での shock breakout 守屋 堯 (東京大学)		
14:12	<b>K08b</b> Establishing Type Ia Origins of RCW 86 and G344.7-0.1, Galactic Supernova Remnants Associated with Star Forming Regions 山口弘悦 (Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics)		
14:12	<b>K09b</b> Suzaku 衛星による超新星残骸 RCW86のマッピング観測 岡本雄大 (東京理科大学)		
14:24	<b>K10b</b> Ia型超新星と伴星との衝突ではがれ る水素の観測可能性 朽名正道 (東京大学)		

## L. 太陽系

<b>3月19日(月) 午後・D会場</b>			
14:36	<b>L01a</b> 日本書紀皇極紀の月食記録 谷川清隆 (国立天文台)	10:30	<b>L12a</b> あかりによる黄道光低分散分光解析と 黄道光の2温度モデル 津村耕司 (宇宙航空研究開発機構)
14:48	<b>L02a</b> 1183年11月17日の水島日食に関する $\Delta T$ の考察 上田暁俊 (国立天文台)	10:42	<b>L13a</b> CIBER/LRSによる近赤外線波長域に おける黄道光の分光観測—惑星間ダ ストの組成と空間分布— 新井俊明 (東京大学 / 宇宙航空研 究開発機構)
15:00	<b>L03b</b> 暦象年表 Web 版について 片山真人 (国立天文台)	10:54	<b>L14a</b> 「あかり」小惑星カタログ AcuA を用い たメインベルト小惑星のアルベド分布 白井文彦 (宇宙航空研究開発機構)
<b>3月20日(火) 午前・D会場</b>			
09:30	<b>L04a</b> 衛星加速度の並列計算 福島登志夫 (国立天文台)	11:06	<b>L15a</b> 地球に最接近した小惑星 2005YU55 の miniTAO/MAX38 による中間赤外線 観測 宮田隆志 (東京大学)
09:42	<b>L05a</b> 磁気嵐に伴う地球からの広がった軟 X 線放射の「すざく」による観測 石川久美 (首都大学東京)	11:18	<b>L16a</b> 超広視野サーベイ観測による太陽系 小天体研究 寺居 剛 (国立天文台)
09:54	<b>L06b</b> 北大ピリカ望遠鏡搭載北教大可視光 分光器による太陽系天体スペクトルカ タログの作成 関口朋彦 (北海道教育大学)		
	<b>L07c</b> 2009-11年の木星南赤道縞の変化に ついて 浅田 正 (九州国際大学)		
09:54	<b>L08b</b> 南極昭和基地での UFOCapture を用 いた流星の自動ビデオ観測 藤原康德 (日本流星研究会)		
09:54	<b>L09b</b> 10月りゅう座流星群の出現予報時刻 と実際の観測値の差に対する考察 佐藤幹哉 (川崎市青少年科学館)		
10:06	<b>L10a</b> 2008から2011年における7月ペガス ス座流星群の軌道 上田昌良 (日本流星研究会)		
10:18	<b>L11a</b> 近赤外線高分散観測による彗星 C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> の検出可能性 小林仁美 (京都産業大学)		

## M. 太陽

3月19日(月) 午後・E会場	3月20日(火) 午前・E会場
13:00 <b>M01a</b> 磁束浮上領域に見られる水平湧き出し流の観測 鳥海 森 (東京大学)	09:30 <b>M12a</b> SOLAR-C 衛星計画の進展 常田佐久 (国立天文台)
13:12 <b>M02a</b> ひので SOT/SP level-2 データを用いた太陽電流ヘリシティ測定 大辻賢一 (国立天文台)	09:42 <b>M13a</b> 次期太陽観測衛星 Solar-C 搭載光学望遠鏡の設計方針と装置概要 一本 潔 (京都大学)
13:24 <b>M03a</b> 活動領域 NOAA11158 で多発したフレアのエネルギー蓄積、解放における浮上磁場の役割について 吉永祐介 (京都大学)	09:54 <b>M14a</b> Solar-C 搭載 X線望遠鏡の検討状況 (II) 坂尾太郎 (宇宙航空研究開発機構)
13:36 <b>M04a</b> フレアトリガ領域における磁場構造とプリフレア発光の関係 伴場由美 (名古屋大学)	10:06 <b>M15a</b> ALMA によるミリ波・サブミリ波帯での太陽観測: 2 下条圭美 (国立天文台)
13:48 <b>M05b</b> AR 11158 の M クラスフレアにおける磁場発展とフレアモデルとの比較 鳥海 森 (東京大学)	10:18 <b>M16a</b> 飛騨天文台 SMART-T4 望遠鏡による光球磁場観測の初期成果 永田伸一 (京都大学)
13:48 <b>M06b</b> 太陽内部の対流・ダイナモ現象の大局的 MHD 数値実験 (1) 政田洋平 (神戸大学)	10:30 <b>M17a</b> 飛騨天文台 SMART 望遠鏡高速フレア撮像装置による観測と初期成果 石井貴子 (京都大学)
13:48 <b>M07b</b> 連続光高速撮像装置による 2011 年 09 月 06 日の白色光フレアの特徴解析 川手朋子 (京都大学)	10:42 <b>M18a</b> CHAIN プロジェクト海外若手研究者の育成とワークショップ研究成果報告 森田 諭 (京都大学)
14:00 <b>M08a</b> 白色光フレア現象の統計的研究 (II) 渡邊恭子 (宇宙航空研究開発機構)	10:54 <b>M19b</b> 国立天文台における 1917-1974 年の太陽全面 Ca K スペクトロヘリオグラム公開 花岡庸一郎 (国立天文台)
14:12 <b>M09a</b> High-Temperature & High-Speed Downflows in an Impulsive Flare II. 渡邊鉄哉 (国立天文台)	10:54 <b>M20b</b> NOAA11305 で観測された黒点振動の多波長解析 大川明宏 (茨城大学)
14:24 <b>M10a</b> MHD 数値シミュレーションによるコロナ斜め磁場中の彩層蒸発ジェットの再現 松井悠起 (東京大学)	10:54 <b>M21b</b> 観測データ駆動型フラックスロープ磁場コロナ質量放出モデルの開発 塩田大幸 (理化学研究所)
14:36 <b>M11a</b> 太陽フレアに伴う彩層蒸発とポストフレアループの構造に関する研究 中村尚樹 (京都大学)	11:06 <b>M22b</b> 非対称な反平行磁場における磁気リコネクションと波の発生 高橋邦生 (海洋研究開発機構)
	<b>M23c</b> 浮上磁場領域の中心部に見られる小規模磁気要素の空間構造 鳥海 森 (東京大学)
	<b>M24c</b> Determining Prominence Magnetic Field through Prominence Seismology Using Hinode SOT data Andrew Hillier (京都大学)

	<p><b>M25c</b> ケルビン・ヘルムホルツ不安定非線形発展のMHDシミュレーション            震島 敬 (海洋研究開発機構)</p> <p><b>M26c</b> 惑星間空間多点観測による太陽風速度構造の変動解析            和田大三郎 (東海大学)</p>		
	<b>3月20日(火) 午後・E会場</b>		
13:30	<b>M27a</b> 京都大学飛騨天文台 FMT で観測されたモートン波現象に付随するフィラメント噴出の統計的解析 山口雅史 (京都大学)		
13:42	<b>M28a</b> 2010年6月20日のフィラメント噴出の多点観測 大山真満 (滋賀大学)		
13:54	<b>M29a</b> 太陽面分光観測装置によるフレアカーネルの観測 末松芳法 (国立天文台)		
14:06	<b>M30a</b> 野辺山電波ヘリオグラフが観測した第24太陽周期の全太陽フレアの多波長解析 1 増田 智 (名古屋大学)		
14:18	<b>M31a</b> 国立天文台野辺山電波ヘリオグラフによる17・34GHzマイクロ波放射のセンター-リム変動の統計解析 川手朋子 (京都大学)		
14:30	<b>M32a</b> 太陽電波 Type-I パースト中に見られるスペクトル微細構造の特性 II 岩井一正 (東北大学)		
14:42	<b>M33a</b> コロナ加熱及び太陽風加速の2次元磁気流体シミュレーションのパラメータ依存性について 松本琢磨 (名古屋大学)		
14:54	<b>M34a</b> 連続60年の電波強度観測 柴崎清登 (国立天文台)		
15:06	<b>M35a</b> 回帰領域の出現経度の時間変化 山本哲也 (名古屋大学)		
		<b>3月21日(水) 午前・E会場</b>	
09:30	<b>M36a</b> 太陽活動領域周辺の温度 vs 速度で調べるコロナのループ構造 泉 拓磨 (東京大学)		
09:42	<b>M37a</b> 「ひので」X線望遠鏡による高温(フレア)プラズマ温度診断 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)		
09:54	<b>M38a</b> 京都大学飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡を用いた彩層の分光観測によるモス、低温ループの足元領域の比較 吉田憲悟 (立命館大学)		
10:06	<b>M39a</b> Search for missing links between photospheric downdrafts and chromospheric brightening in the network magnetic elements 加藤成晃 (国立天文台)		
10:18	<b>M40a</b> Swedish Solar Telescope / CRISP を用いた umbral dot の磁場・速度場の時間変化 II 渡邊皓子 (京都大学)		
10:30	<b>M41a</b> 暗部フラッシュに伴う HeI10830Å A スペクトル線形成層の変動 阿南 徹 (京都大学)		
10:42	<b>M42a</b> 磁気化学方程式の数値計算による太陽光球磁極磁束量分布の再現 飯田佑輔 (東京大学)		
10:54	<b>M43a</b> 超粒状斑のスケール選択における磁場の役割 飯島陽久 (東京大学)		
11:06	<b>M44a</b> 3次元磁気流体シミュレーションによる磁場増幅機構「エクスポージョン」の研究 堀田英之 (東京大学)		

## N. 恒星

<b>3月19日(月) 午後・F会場</b>		10:06	<b>N14a</b>	ミラ型変光星 HV2446・IRAS04544-6849 に観測されたダスト形成の兆候 上塚貴史 (東京大学)
13:00	<b>N01a</b>			恒星非動径振動のモード分類について 高田将郎 (東京大学)
13:12	<b>N02a</b>	10:18	<b>N15a</b>	30 $\mu\text{m}$ 帯観測による双極状惑星状星雲 Mz3 中心星周囲低温ダストの新検出 浅野健太朗 (東京大学)
13:24	<b>N03a</b>	10:30	<b>N16a</b>	近赤外線分光撮像観測による Wolf-Rayet 星探索: 減光量の評価 田中培生 (東京大学)
13:36	<b>N04a</b>	10:42	<b>N17a</b>	近赤外線分光撮像観測による Wolf-Rayet 星探索: 「Pa $\alpha$ 」フィルターによる観測 奥村真一郎 (日本スペースガード協会)
13:48	<b>N05a</b>	10:54	<b>N18b</b>	近赤外分光撮像観測による Wolf-Rayet 星探索: LMC/30Dor 領域 高橋英則 (東京大学)
14:00	<b>N06a</b>	10:54	<b>N19b</b>	Wolf-Rayet 連星系 WR 21a における謎の X 線増光 菅原泰晴 (中央大学)
14:12	<b>N07a</b>	10:54	<b>N20b</b>	早期型星からの X 線エネルギースペクトルとその時間変動の観測 清水佑輔 (立教大学)
14:24	<b>N08a</b>	11:06	<b>N21b</b>	新しい triple- $\alpha$ 反応率が大量星の元素組成に与える影響 菊池之宏 (九州大学)
14:36	<b>N09a</b>	11:06	<b>N22b</b>	MOA-I の LMC 観測データを用いた変光天体データベースの作成 和田光平 (大阪大学)
14:48	<b>N10a</b>	11:06	<b>N23b</b>	Mira 型変光星の位置天文観測 中川亜紀治 (鹿児島大学)
<b>3月20日(火) 午前・F会場</b>		11:18	<b>N24b</b>	ペルセウス座 S 星のカリウム共鳴線にみられる輪郭の時間変化 松田健太郎 (兵庫県立西はりま天文台公園)
09:30	<b>N11a</b>	11:18	<b>N25b</b>	JVO における HDS 一次処理済みデータの公開 石垣美歩 (国立天文台)
09:42	<b>N12a</b>			中性珪素の近赤外吸収線に基づく近傍星の NLTE 組成解析 比田井昌英 (東海大学)
09:54	<b>N13a</b>		<b>N26c</b>	半規則型変光星 RW Lep の年周視差計測 亀崎達矢 (鹿児島大学)
				あかり IRC による系内惑星状星雲 2-5 $\mu\text{m}$ 分光観測 (PNSPC) に基づく 3.3 $\mu\text{m}$ PAH バンドの性質 III 大澤 亮 (東京大学)

## P. 星・惑星形成

3月20日(火) 午後・D会場	3月21日(水) 午前・D会場
13:30 <b>P101a</b> 大質量星無し巨大分子雲 California Molecular Cloud の高密度ガス探査 池田紀夫 (宇宙航空研究開発機構)	09:30 <b>P113a</b> CW Tau のガス円盤の観測 麻生有佑 (東京大学)
13:42 <b>P102a</b> Infall, Outflow, and Rotation in the G19.61-0.23 Hot Molecular Core 古屋 玲 (国立天文台)	09:42 <b>P114a</b> SMA による原始星 L43 の原始惑星系円盤の検出 小屋松 進 (東京大学)
13:54 <b>P103a</b> NGC2264 CMM 3 で見られるクランプへの継続的な乱流供給 古屋隆太 (東京大学)	09:54 <b>P115a</b> 原始惑星系円盤の化学構造と ALMA による分子輝線観測 野村英子 (京都大学)
14:06 <b>P104b</b> 大質量星周辺における周期的な強度変動の探査 I : 6.7GHz メタノール・メーザーの強度変動モニター観測 杉山孝一郎 (山口大学)	10:06 <b>P116a</b> 中質量星における原始惑星系円盤の寿命 安井千香子 (国立天文台)
14:06 <b>P105b</b> EAVN による 6.7GHz メタノール・メーザーの VLBI サーベイ II 杉山孝一郎 (山口大学)	10:18 <b>P117a</b> すばる望遠鏡戦略枠観測「SEEDS」による原始惑星系円盤および系外惑星探査 II 工藤智幸 (国立天文台)
14:06 <b>P106b</b> JVN / VERA を用いた大質量原始星ジェットモニター計画 元木業人 (北海道大学)	10:30 <b>P118a</b> SEEDS による星形成領域における原始惑星系円盤探査の現状 橋本 淳 (国立天文台)
14:18 <b>P107a</b> 星なし分子雲コアにおける豊富な CH <sub>3</sub> OH の起源 相馬達也 (東京大学)	10:42 <b>P119a</b> HD 169142 に付随する星周円盤の Subaru/HiCIAO 近赤外撮像観測 森田彩佳 (茨城大学)
14:30 <b>P108a</b> Gas-phase Production of CO <sub>2</sub> in Dark Cloud Cores 徳留智矢 (東京大学)	10:54 <b>P120a</b> Herbig Ae 型星 MWC480 における偏光コロナグラフ観測 : 2 日下部展彦 (国立天文台)
14:42 <b>P109a</b> Distribution of 9 cm CH Emission in Heiles Cloud 2 坂井南美 (東京大学)	11:06 <b>P121a</b> すばる /Suprime-Cam を用いたおうし座における惑星質量天体の探査 末永拓也 (総合研究大学院大学)
14:54 <b>P110a</b> Line Survey of L1157 B1 Shocked Region II 山口貴弘 (東京大学)	11:18 <b>P122a</b> Infrared Linear and Circular Polarimetry of NGC 6334 Jungmi Kwon (国立天文台 / 総合研究大学院大学)
15:06 <b>P111a</b> The shock chemistry of phosphorus in the shocked region L1157 B1 青田拓大 (神戸大学)	11:30 <b>P123b</b> 近赤外偏光観測による T タウリ型連星系に対する原始惑星系円盤の探査 谷井良子 (神戸大学)
15:18 <b>P112a</b> Temporal variation and D/H ratios of Hot Corino and WCCC species 相川祐理 (神戸大学)	



11:30	<b>P124b</b> GG Tau に付随する周連星円盤の近赤外線観測 伊藤洋一 (神戸大学)	14:42	<b>P135b</b> 高い降着率の下で進化する原始星の脈動不安定性 稲吉恒平 (京都大学)
11:30	<b>P125b</b> 近赤外線測光モニター観測による YSO 変光天体の探査 中島亜紗美 (東京大学/国立天文台)	14:42	<b>P136b</b> 円盤形成初期の原始星と星周円盤の共成長モデルにおける質量進化 大谷卓也 (大阪大学)
	<b>P126c</b> Dust mineralogy in SVS13 藤吉拓哉 (国立天文台)	14:54	<b>P201b</b> 円盤でのダストの沈殿と成長および Richardson 数と巻き上げの可能性 長谷川幸彦 (大阪大学)
<b>3月21日(水) 午後・D会場</b>			
13:30	<b>P127a</b> フィラメント状分子雲の重力収縮とコア形成 鐵 紘由紀 (東京工業大学)	14:54	<b>P202b</b> 熱収支を考慮した原始惑星系円盤の分裂の可能性 木村成生 (大阪大学)
13:42	<b>P128a</b> 原始星コア形成過程の抵抗性輻射磁気流体シミュレーション 富田賢吾 (総合研究大学院大学/国立天文台)	14:54	<b>P203b</b> 原始星形成期の星周円盤進化 高橋実道 (京都大学)
13:54	<b>P129a</b> 輻射過程を考慮した星周円盤の形成進化過程と円盤分裂による惑星形成の可能性について 塚本裕介 (東京大学)	15:06	<b>P204b</b> ガス円盤中での微惑星連星形成 小南淳子 (国立天文台)
14:06	<b>P130a</b> 初代星形成における水素分子冷却計算の不定性 平野信吾 (東京大学)	15:06	<b>P205b</b> ヒヤデス星団に属する A 型主系列星のトランジット惑星サーベイ 大島 修 (岡山水島工高)
14:18	<b>P131a</b> 初期宇宙での超新星爆発に起因する星形成 千秋 元 (東京大学)	15:06	<b>P206b</b> 系外惑星への応用にむけた地球照の偏光分光観測 高橋 隼 (西はりま天文台)
14:30	<b>P132b</b> 原始惑星系円盤の化学進化における円盤風の影響 石本大貴 (京都大学)	15:18	<b>P207b</b> 分光連星系の限られた星周領域に存在する巨大ガス惑星の探査 加藤則行 (神戸大学)
14:30	<b>P133b</b> 原始星フレアに関する磁気流体数値実験 中村賢仁 (九州産業大学)	15:18	<b>P208b</b> 高分散分光観測による G 型巨星の CaII H 輝線強度の測定 深町大介 (神戸大学)
14:30	<b>P134b</b> 形成中の原始連星の成長過程について 釣部 通 (大阪大学)		

3月22日(木) 午前・D会場	3月22日(木) 午後・D会場
09:30 <b>P209a</b> 周惑星円盤の形成：原始惑星系円盤からのガス降着流 谷川享行 (CPS/ 北海道大学)	13:30 <b>P219a</b> 地球型惑星の水吸収線と表層環境 藤井友香 (東京大学)
09:42 <b>P210a</b> 原始惑星系円盤からの質量降着を考慮した周惑星円盤の構造 藤井悠里 (名古屋大学)	13:42 <b>P220a</b> すばるアーカイブ画像の詳細解析による太陽系外惑星探査 桑田嘉大 (大阪大学)
09:54 <b>P211a</b> 磁気乱流不活性領域を考慮した原始惑星系円盤の面密度分布 竹内 拓 (東京工業大学)	13:54 <b>P221a</b> ケプラー測光を用いた星の自転軸傾斜角の測定 平野照幸 (東京大学)
10:06 <b>P212a</b> 数値流体計算法の改良と自己重力起源乱流計算への応用 森 克敬 (名古屋大学)	14:06 <b>P222a</b> WASP-33b の secondary eclipse 観測 大貫裕史 (東京工業大学)
10:18 <b>P213a</b> 円盤のコア・ハロー構造が生み出す惑星の可能性 皆川紘恵 (お茶の水女子大学)	14:18 <b>P223a</b> G型巨星における惑星系の日韓共同探査.VIII：中質量巨星 HD100655 を周回する惑星の発見 大宮正士 (東京工業大学)
10:30 <b>P214a</b> 永年重力不安定による微惑星形成の数値シミュレーション 道越秀吾 (国立天文台)	14:30 <b>P224a</b> 星間空間における光誘起 L 型アミノ酸過剰の理論的研究 佐藤皓允 (筑波大学)
10:42 <b>P215a</b> 破壊が決める原始惑星の最終質量 小林 浩 (名古屋大学)	14:42 <b>P225a</b> 地上望遠鏡で探るバイオマーカーとハビタット：SEIT による宇宙生命探査 河原 創 (首都大学東京)
10:54 <b>P216a</b> MOA-II による M 型星における惑星系及び連星系の質量比関数 神原周平 (名古屋大学)	14:54 <b>P226a</b> Solving For The Orbital Elements Of Binary Systems Using Markov Chain Monte Carlo Simulations Kyle Mede (東京大学)
11:06 <b>P217a</b> 惑星イベント：MOA-2010-BLG-328 古澤 圭 (名古屋大学)	15:06 <b>P227a</b> SAO 206462 に付随する遷移円盤の高解像度赤外線偏光観測による小さな渦巻き構造の発見とその理論的示唆 武藤恭之 (東京工業大学)
11:18 <b>P218a</b> MOA-II による系外惑星探査：2011年の結果 鈴木大介 (大阪大学)	15:18 <b>P228a</b> 地球型惑星検出のためのすばる赤外線ドップラー分光器 IRD の開発：3 田村元秀 (国立天文台)
	<b>P229c</b> SEEDS プロジェクトによる M 型星周りの系外惑星探査 石井未来 (国立天文台)

## Q. 星間現象

3月21日(水) 午後・E会場		3月22日(木) 午前・E会場	
13:30	<b>Q01a</b> 「あかり」中間赤外線全天サーベイ diffuse マップ 石原大助 (名古屋大学)	15:18	<b>Q12b</b> 銀河系バーエンドに付随する G23.44-0.18 における NH <sub>3</sub> 輝線観測 大石晋恵 (北海道大学)
13:42	<b>Q02a</b> 「あかり」による遠赤外線拡散光全天マッピング IX (全天画像公開) 土井靖生 (東京大学)	15:30	<b>Q13b</b> 星間ガスから星間雲への速い相転移を記述する定常解 岩崎一成 (名古屋大学)
13:54	<b>Q03a</b> 赤外線継続観測に基づく新星 V1280Sco 周囲でのダスト形成史 左近 樹 (東京大学)	3月22日(木) 午前・E会場	
14:06	<b>Q04a</b> 遠方銀河の遠赤外放射に起因する SFD ダストマップの系統誤差 柏木俊哉 (東京大学)	09:30	<b>Q14a</b> 「なんてん」による CO(J=1-0) 銀河面サーベイ NGPS (version 1) 早川貴敬 (名古屋大学)
14:18	<b>Q05a</b> プランク衛星と超広域前景分子雲観測による宇宙背景放射の研究4: 2011年度計画進捗報告 奥田武志 (名古屋大学)	09:42	<b>Q15a</b> 散開星団 NGC6231 を指向するエレファント・トランクと周辺の分子雲 曾我 翔 (名古屋大学)
14:30	<b>Q06a</b> プランク衛星と超広域前景分子雲観測による宇宙背景放射の研究5: 2011年度の観測の成果 山本宏昭 (名古屋大学)	09:54	<b>Q16a</b> ASTE による LMC の Supergiant Shell に付随する星形成領域 N48 の観測 藤井浩介 (東京大学)
14:42	<b>Q07a</b> 三裂星雲 M20 に付随する分子雲: 分子雲衝突による大質量星形成 鳥居和史 (名古屋大学)	10:06	<b>Q17a</b> メタノールメーザー源に付随する HNCO 分子輝線 出口修至 (国立天文台)
14:54	<b>Q08a</b> Mopra 望遠鏡を用いた M20 分子雲衝突に関する高分解能多輝線観測 長谷川敬亮 (名古屋大学)	10:18	<b>Q18a</b> 野辺山 45m 望遠鏡レガシープロジェクト: ラインサーベイ観測 (IV) 高野秀路 (国立天文台)
15:06	<b>Q09a</b> 巨大星団 NGC3603 の母体分子雲: 雲同士の衝突による星団形成 大濱晶生 (名古屋大学)	10:30	<b>Q19a</b> 星間物質の遷移過程が期待できる矮小楕円体銀河の選別処方 釜谷秀幸 (防衛大学校)
15:18	<b>Q10b</b> 「あかり」遠赤外線イメージデータに基づく銀河系内ダストの赤外線放射全天マップ作成 II 大坪貴文 (東北大学)	10:42	<b>Q20a</b> 銀河系中心 50 km s <sup>-1</sup> 分子雲中クランプの統計的性質 坪井昌人 (宇宙航空研究開発機構)
15:18	<b>Q11b</b> 生まれたばかり星の集団がまとう赤外線で輝く星雲 小野綾子 (神戸大学)	10:54	<b>Q21a</b> 銀河系中心 Sgr C 領域の高速コンパクト雲 田中邦彦 (慶應義塾大学)
		11:06	<b>Q22a</b> 銀河系中心部の Double Helix Nebula に付随する分子雲の発見 2 榎谷玲依 (名古屋大学)

11:18	<b>Q23a</b> 「すざく」による銀河中心プラズマの空間分布の測定 信川正順 (京都大学)	14:42	<b>Q34a</b> 超新星残骸のガンマ線放射機構：宇宙線陽子の標的としての星間陽子 福井康雄 (名古屋大学)
11:30	<b>Q24a</b> X線・近赤外線による銀河面リッジX線放射の観測 森鼻久美子 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	14:54	<b>Q35a</b> 超新星残骸 RX J1713.7-3946 における星間ガスとX線放射 佐野栄俊 (名古屋大学)
11:42	<b>Q25a</b> 全天X線監視装置によるsoftで大きく広がった構造の観測 木村 公 (大阪大学)	15:06	<b>Q36a</b> ガンマ線超新星残骸 HESS J1731-347 に付随する星間雲 福田達哉 (名古屋大学)
	<b>Q26c</b> Galactic diffuse X-ray emission の鉄輝線について 山内茂雄 (奈良女子大学)	15:18	<b>Q37a</b> TeVガンマ線源 HESS J1023-575 とアーク・ジェット分子雲の形成と放射機構 古川尚子 (名古屋大学)
	<b>Q27c</b> 球対称パルサー星雲の電波スペクトル 田中周太 (大阪大学)		
<b>3月22日(木) 午後・E会場</b>			
13:30	<b>Q28a</b> すざくによる混合形態型超新星残骸 W44 の過電離プラズマ構造の研究 内田裕之 (京都大学)		
13:42	<b>Q29a</b> 「すざく」衛星による超新星残骸 W51C の観測 花畑義隆 (広島大学)		
13:54	<b>Q30a</b> すざく衛星による超新星残骸 G355.6-0.0 の高温プラズマの観測 南 沙里 (奈良女子大学)		
14:06	<b>Q31a</b> すざくによるガンマ線未同定天体 HESS J1841-055 の観測 河島久実子 (京都大学)		
14:18	<b>Q32a</b> Mixed-morphology 型超新星残骸の起原 清水崇文 (首都大学東京)		
14:30	<b>Q33a</b> 超新星残骸プラズマの周辺密度や爆発のタイプに依存した進化の研究 染谷謙太郎 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)		

## R. 銀河

3月21日(水) 午後・B会場		3月22日(木) 午前・B会場	
13:30	<b>R01a</b> 狭帯域フィルターを用いた銀河系中心領域の早期型星の探査2 西山正吾(国立天文台)	15:18	<b>R14b</b> 銀河系矮小銀河のダークハロー構造: $\Lambda$ CDM理論の検証 林 航平(東北大学)
13:42	<b>R02a</b> 「すざく」による天の川銀河拡散X線放射の空間依存性の研究 内山秀樹(東京大学)		<b>R15c</b> すばる望遠鏡によるペガサス座矮小不規則銀河のハロー構造と星形成史の解明 川尻友香(日本女子大学)
13:54	<b>R03a</b> VERA アーカイブデータの解析:S269 朝木義晴(宇宙航空研究開発機構)	15:18	<b>R16b</b> 「あかり」IRC 撮像データによるM51の星間ダスト研究 江草英実(宇宙航空研究開発機構)
14:06	<b>R04a</b> VERAによるLSRの銀河回転角速度の測定 永山 匠(国立天文台)	15:30	<b>R17b</b> 銀河COスペクトルの輪郭の定量化 松井佳菜(北海道大学)
14:18	<b>R05a</b> 銀河系非円運動と密度波理論との比較 坂井伸行(総合研究大学院大学)	<b>3月22日(木) 午前・B会場</b>	
14:30	<b>R06a</b> 銀河衝撃波の湾曲と振動 花輪知幸(千葉大学)	09:30	<b>R18a</b> GRAPE-8 プロセッサボードの性能評価 牧野淳一郎(東京工業大学)
14:42	<b>R07a</b> MHD 数値実験より求めたRM分布の初期磁場構造依存性 町田真美(九州大学)	09:42	<b>R19a</b> OB runaway star の起源 藤井通子(鹿児島大学/Leiden Univ.)
	<b>R08c</b> RMから考える銀河系磁場 小澤武揚(明星大学)	09:54	<b>R20a</b> 自己重力N体系の力学的進化による速度緩和 小松信義(金沢大学)
	<b>R09c</b> Tilted ring modelを用いた相互作用銀河M51の回転曲線解析 及川翔太(明星大学)		<b>R21c</b> 銀河潮汐場中の球状星団の質量損失とFokker-Planckモデル:銀河ポテンシャルによる違い 高橋広治(埼玉工業大学)
	<b>R10c</b> 渦巻き銀河の形態と伴銀河との相互作用の関係 津田裕也(明星大学)		<b>R22c</b> Self-Consistent Field法による自己重力ハロー中の円盤銀河の力学進化 穂積俊輔(滋賀大学)
14:54	<b>R11a</b> 銀河系最外縁の分子雲Cloud1における星生成(2):距離の同定 泉 奈都子(東京大学)		<b>R23c</b> マゼラニクストリームのH $\alpha$ 輝線領域の形状 八木雅文(国立天文台)
15:06	<b>R12a</b> 球状星団の中性子捕獲元素組成の多様性 本田敏志(京都大学)	10:06	<b>R24a</b> アンドロメダストリームの非対称構造 桐原崇亘(筑波大学)
15:18	<b>R13b</b> 高銀緯方向のミラ型変光星探査 坂本 強(日本スペースガード協会)	10:18	<b>R25a</b> アンドロメダのリングと涙 森 正夫(筑波大学)

10:30	<b>R26a</b> 近赤外線による低銀緯グレートアトラクター領域における銀河探査 永山貴宏 (名古屋大学)	14:18	<b>R36a</b> 母銀河の性質から調べる ULIRG・LIRG・QSO の進化関係 大井 渚 (総合研究大学院大学)
10:42	<b>R27a</b> Spectral Line Survey toward GMCs in M51 with NRO 45 m telescope. 渡邊祥正 (東京大学)	14:30	<b>R37a</b> 初期～中期段階の相互作用銀河における星形成活動 金子紘之 (総合研究大学院大学)
10:54	<b>R28a</b> スターバースト銀河 NGC 253 の X 線観測 三石郁之 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	<b>R38a</b> 近傍高光度赤外線銀河の Pa $\alpha$ 輝線狭帯域撮像サーベイプロジェクト 館内 謙 (東京大学)
11:06	<b>R29a</b> 「あかり」を用いた近傍銀河に存在する星間氷の探査 山岸光義 (名古屋大学)	14:54	<b>R39a</b> NANTEN2 望遠鏡による $^{12}\text{CO}(J=1-0)$ 系外銀河サーベイ 吉池智史 (名古屋大学)
11:18	<b>R30a</b> 「あかり」がとらえた M82 銀河ハロー領域でのダスト変性の証拠 金田英宏 (名古屋大学)	15:06	<b>R40a</b> Superlinear slope of the resolved Kennicutt-Schmidt law 百瀬莉恵子 (東京大学/国立天文台)
11:30	<b>R31a</b> The large-scale features of the molecular gas in M82 Salak Dragan (筑波大学)	15:18	<b>R41a</b> Structural Evolution of Star-Forming Galaxies at Redshift $z = 0 - 3$ and its Implication on SED and SFR Wiphu Rujopakarn (Steward Observatory, Univ. of Arizona; USA)
<b>3月22日(木) 午後・B会場</b>			
13:30	<b>R32a</b> 衝突銀河 TaffyI における分子ガスと星形成 小麥真也 (Joint ALMA Observatory/ 国立天文台)	<b>R42c</b> 早期型銀河の中心部構造と観測的諸性質の関係に関する統計的研究 II 隈井泰樹 (熊本学園大学)	
13:42	<b>R33a</b> つくば 32m 鏡による近傍銀河のアンモニア分子輝線観測 瀬田益道 (筑波大学)	<b>R43c</b> SDSS データによるエッジオン / フェイスオン近傍銀河の表面輝度モデルフィットと箱型 / バー構造 吉野 彰 (宇宙航空研究開発機構)	
13:54	<b>R34a</b> 「あかり」近赤外線分光観測で探る棒渦巻銀河 NGC1097 中心領域の星間環境 近藤 徹 (名古屋大学)		
14:06	<b>R35a</b> Infrared K, L, M imaging and photometry of two buried AGNs of the nearby merging galaxy NGC 6240 with Subaru/IRCS+AO 森 珠実 (東京大学)		

## S. 活動銀河核

3月19日(月) 午後・G会場		3月20日(火) 午前・G会場	
13:00	<b>S01a</b> 活動銀河核ジェット形成における中性子の役割 當真賢二 (大阪大学)	14:48	<b>S12b</b> セイファート銀河の広帯域スペクトル変化と鉄輝線構造の研究 磯 直樹 (I 宇宙航空研究開発機構 / 東京大学)
13:12	<b>S02a</b> ブレーザーにおける超高エネルギー陽子起源X線・ガンマ線放射機構の再考 井上 進 (東京大学)		<b>S13c</b> Sgr A* からのガンマ線放射モデル 楠瀬正昭 (関西学院大学)
13:24	<b>S03a</b> MAGIC 報告 5: MAGIC 望遠鏡による遠方ブレーザー天体の研究 齋藤浩二 (Max-Planck-Institut für Physik)	3月20日(火) 午前・G会場	
13:36	<b>S04a</b> MAGIC 報告 6: MAGIC 望遠鏡による最近の活動銀河核の観測 高見 一 (Max-Planck-Institut für Physik)	09:30	<b>S14a</b> 活動銀河核形成の統一モデルはあるか? 谷口義明 (愛媛大学)
13:48	<b>S05a</b> Fermi-LAT における $\gamma$ 線未同定天体の近赤外線偏光観測 藤原麻衣 (名古屋大学)	09:42	<b>S15a</b> Cosmological Evolution of SMBH mass-Bulge mass Relation investigated by SDSS QSOs at $z \sim 3$ 濟藤祐理子 (総合研究大学院大学 / 国立天文台)
14:00	<b>S06a</b> ブレーザーの光度、偏光変動とシンクロトロンピーク周波数の関係の調査 笹田真人 (広島大学)		<b>S16c</b> クェーサースペクトルの光度依存性について 堀 貴明 (愛媛大学)
14:12	<b>S07a</b> ブレーザー天体 Mrk 421 の長期可視偏光・X線光度モニター観測 伊藤亮介 (広島大学)	09:54	<b>S17a</b> 銀河からのガス供給過程の多様性と超巨大ブラックホール成長との関係 川勝 望 (筑波大学)
14:24	<b>S08a</b> 電波銀河 Fornax A 西ローブの非熱的・熱的放射の空間分布の発見 瀬田裕美 (埼玉大学)	10:06	<b>S18a</b> 近赤外 Pa $\alpha$ 輝線によるBH質量の測定 今瀬佳介 (総合研究大学院大学)
14:36	<b>S09a</b> 電波強度が強い狭輝線1型セイファート銀河 RXJ1633+4718 のすざくによる観測 高橋宏明 (大阪大学)		<b>S19c</b> MAXI による AGN の X 線光度変動の調査 佐藤良祐 (京都大学)
14:48	<b>S10b</b> 狭輝線セイファート1型銀河の電波銀河の発見 土居明広 (宇宙航空研究開発機構)	10:18	<b>S20a</b> VLBA 多周波位相補償アストロメトリで推定される NGC 4261 のブラックホール位置と吸収物質 羽賀崇史 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:48	<b>S11b</b> GENJI プログラム: 電波銀河 3C 84 のモニター観測結果 II 日浦皓一郎 (北海道大学)	10:30	<b>S21a</b> 超巨大質量ブラックホールの直接検出に向けて 井上 允 (天文及天体物理研究所)

	<b>S22c</b>	韓国 VLBI 観測網 KVN 単一鏡による活動銀河核のアンモニア吸収線探査 澤田 - 佐藤聡子 (国立天文台)	14:06	<b>S32a</b>	ダストに覆われた AGN IRAS 01250+2832 の近赤外分光観測 白旗麻衣 (国立天文台)
10:42	<b>S23a</b>	軟 X 線放射のみを示す AGN 候補天体の発見 寺島雄一 (愛媛大学)	14:18	<b>S33a</b>	MAGNUM プロジェクト: 近傍セイファート銀河 NGC 7469 におけるダストトラスの時間変化 越田進太郎 (東京大学)
10:54	<b>S24a</b>	Swift J164449.3+573451 の X 線光度曲線のダブルピークの理論的解釈 早崎公威 (京都大学)	14:30	<b>S34a</b>	ダストトラスと降着円盤の軸不一致が引き起こす放射特性 川口俊宏 (筑波大学)
11:06	<b>S25a</b>	質量比が小さいバイナリーブラックホールへの降着流と放射特性 斉藤秀樹 (京都大学)	14:42	<b>S35a</b>	「すざく」衛星による 1 型セイファート銀河 NGC4151 の ToO 観測 (2011 年) 平木一至 (広島大学)
11:18	<b>S26a</b>	Broad line emissions from an accretion disk in low mass-ratio binary supermassive black holes on a circular and eccentric orbit Hilmy Masyhur (京都大学)	14:54	<b>S36a</b>	ラインフォース駆動型円盤風による AGN 吸収線の説明 野村真理子 (お茶の水女子大学)
11:30	<b>S27b</b>	バルマー系列を用いた高赤方偏移中光度クェーサーのブラックホール質量 松岡健太 (愛媛大学)	15:06	<b>S37a</b>	降着円盤風を持つクェーサーに付随する非熱的ジェットの再帰的活動性 林 隆之 (東京大学)
11:30	<b>S28b</b>	赤い早期型銀河における低光度活動中心核の起源 前林隆之 (東北大学)	15:18	<b>S38a</b>	VLA および EVN による、活動銀河 NGC6240 中心領域の高空間分解能イメージング観測 萩原喜昭 (国立天文台)
<b>3月20日 (火) 午後・G 会場</b>					
13:30	<b>S29a</b>	WISE 衛星初期公開データを用いた中間赤外線選択クェーサー探査 青木賢太郎 (国立天文台)			
13:42	<b>S30a</b>	SXDS 領域における赤方偏移 3 以上の活動銀河核の空間密度と種族比 廣井和雄 (京都大学)			
13:54	<b>S31a</b>	Swift/BAT と「あかり」全天サーベイカタログに基づく活動銀河核の種類の同定 松田桂子 (総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構)			



## T. 銀河団

## U. 宇宙論

3月19日(月) 午後・C会場		3月21日(水) 午後・F会場	
13:00	<b>T01a</b> 銀河団における宇宙線の加速 木村聖人 (首都大学東京)	14:30	<b>U01a</b> RegPTfast: 弱非線形領域における質量パワースペクトルの精密理論計算 樽家篤史 (東京大学)
13:12	<b>T02a</b> すざく衛星を用いた The Bullet Cluster の硬 X 線探査 永吉賢一郎 (宇宙航空研究開発機構)	14:42	<b>U02a</b> ダークマターの非線形進化への Wiener Hermite 展開の適用 杉山尚徳 (東北大学)
13:24	<b>T03a</b> XMM-Newton 衛星で観測された銀河団の鉄質量 - 銀河光度比 佐久間絵理 (東京理科大学)	14:54	<b>U03a</b> Revising the Halo-Fit Model for WMAP Cosmological Models 高橋龍一 (弘前大学)
13:36	<b>T04a</b> Abell 2199 銀河団のビリアル半径までの温度/エントロピー/質量分布 佐藤浩介 (東京理科大学)	15:06	<b>U04b</b> 数値シミュレーションを用いた重力レンズを受けた宇宙背景放射の温度&偏光ゆらぎの擬似マップの作成 高橋龍一 (弘前大学)
13:48	<b>T05a</b> すざく衛星による Hydra A 銀河団のビリアル半径近傍までの観測 1 佐々木 亨 (東京理科大学)	15:06	<b>U05b</b> シミュレーションによる、球面調和関数空間での宇宙マイクロ波背景放射場の検定 2 柏野大地 (名古屋大学)
14:00	<b>T06a</b> すざく衛星による Hydra A 銀河団のビリアル半径近傍までの観測 2 佐藤拓也 (東京理科大学)	15:06	<b>U06b</b> ビッグバン元素合成と原初磁場 山崎 大 (国立天文台)
14:12	<b>T07a</b> すざく衛星による低表面輝度銀河団 A76 のエントロピー測定 藤野遥子 (奈良女子大学)	15:18	<b>U07b</b> 崩壊する暗黒エネルギーモデルに対する観測からの制限 中村理央 (九州大学)
14:24	<b>T08a</b> すざくによる大規模構造フィラメント交差点のミッシングバリオン探査 関谷典央 (宇宙航空研究開発機構)	15:18	<b>U08b</b> $\Lambda$ で光は曲がるのか? : 光の湾曲とレンズ方程式に対する宇宙定数の影響 荒木田英禎 (岩手大学)
14:36	<b>T09b</b> 「すざく」衛星を用いた A2104 銀河団の外縁部解析 星野晶夫 (金沢大学)	15:18	<b>U09b</b> グレートウォールと軌道の螺旋回転と宇宙の筒の拡大の速度 小堀しづ

3月22日(木) 午前・F会場		3月22日(木) 午後・F会場	
09:30	<b>U10a</b> Constraining a curvaton with VEV 瀬戸 治 (北海学園大学)	13:30	<b>U20a</b> スニヤエフ・ゼルドビッチ効果で検出された最遠方銀河団の弱重力レンズ効果による質量測定 宮武広直 (東京大学)
09:42	<b>U11a</b> 初期宇宙揺動と量子測定 森川雅博 (お茶の水女子大学)	13:42	<b>U21a</b> プランク衛星と超広域前景分子雲観測による宇宙背景輻射の研究 6: 一酸化炭素分子輝線の CMB パワースペクトルへの影響 市来浄與 (名古屋大学)
09:54	<b>U12a</b> N 体計算による修正重力宇宙モデルの検証 鈴木隆之 (山口大学)	13:54	<b>U22a</b> SDSS+2dF クエーサーを用いた宇宙のトポロジーに対する観測的制限 藤井宏和 (東京大学)
10:06	<b>U13a</b> 一般的な局所型非ガウス揺らぎのハローの空間分布への影響 西道啓博 (東京大学)	14:06	<b>U23a</b> すばる望遠鏡 FMOS を用いた RSD サーベイの現状 舎川元成 (京都大学)
10:18	<b>U14a</b> 摂動論に基づく繰り込み銀河バイアスモデルの構築と測定法 西澤 淳 (東京大学 IPMU)	14:18	<b>U24a</b> N 体シミュレーションを用いた、線形成長率 $f$ の評価法の開発 石川敬視 (京都大学)
10:30	<b>U15a</b> 重力レンズミンコフスキー関数を用いた宇宙論的テスト 白崎正人 (東京大学)	14:30	<b>U25a</b> 再電離時期に残される炭素・酸素微細構造線信号 日下部元彦 (東京大学)
10:42	<b>U16a</b> 弱い重力レンズ場バイスペクトルへの Halo Sample Variance の影響 加用一者 (東邦大学)	14:42	<b>U26a</b> LiteBIRD 計画による原始重力波の探索 永田 竜 (高エネルギー加速器研究機構)
10:54	<b>U17a</b> 不完全な天球マップを用いた CMB の弱い重力レンズ効果の再構築法 並河俊弥 (東京大学)	14:54	<b>U27a</b> 宇宙膨張論の検証 XVIII 常用の $z_v$ 相関式の非理論性 阿武靖彦
11:06	<b>U18a</b> ランダムカウントノイズが起こす Weak Lensing 解析への系統誤差 大倉悠貴 (国立天文台)	15:06	<b>U28a</b> 宇宙の中心のブラックホールの質量とダークマターの数 小堀しづ
11:18	<b>U19a</b> SuprimeCam データによる cosmic shear 解析 浜名 崇 (国立天文台)		

## V. 地上観測機器

3月20日(火) 午前・C会場		3月20日(火) 午後・C会場	
09:30	<b>V101a</b> ALMA の建設 (16) 井口 聖 (国立天文台)		<b>V112c</b> From ALMA Observation Preparation to Data Quality Assurance Daniel Espada (国立天文台)
09:42	<b>V102a</b> サーボエラー測定による ALMA7m アンテナのポインティングエラーの精度の向上 松澤 歩 (総合研究大学院大学)		<b>V113c</b> ALMA:Helpdesk と Observing Tool 河村晶子 (国立天文台)
09:54	<b>V103a</b> ALMA 観測サイトにおけるキャリブレーション用信号源 その1 木内 等 (国立天文台)	11:18	<b>V114b</b> ASTE 搭載 CATS345 受信機の Dewar への直接設置化および両偏波化 木村公洋 (大阪府立大学)
10:06	<b>V104a</b> JVO と連携した ALMA データ閲覧ソフトウェアの開発 川崎 渉 (国立天文台)	11:18	<b>V115b</b> 広帯域化に向けた超伝導 HEB ミクサの改良と性能評価 古屋隆太 (東京大学)
10:18	<b>V105a</b> ALMA コミッショニング : 全体の進捗と New Capabilities グループ活動報告 澤田剛士 (Joint ALMA Observatory/ 国立天文台)	11:18	<b>V116b</b> 100 GHz 帯ショートスロットハイブリッドカプラーの研究開発 黒岩宏一 (国立天文台 / 大阪府立大学)
10:30	<b>V106a</b> ALMA 偏波観測機能の科学評価活動報告 永井 洋 (国立天文台)	<b>3月20日(火) 午後・C会場</b>	
10:42	<b>V107a</b> ALMA における ACA との結合データ処理とそのイメージング精度 黒野泰隆 (国立天文台)	13:30	<b>V117a</b> ALMA 初期運用 Cycle0 の観測状況と Cycle1 の予定 奥村幸子 (国立天文台)
10:54	<b>V108a</b> ALMA の Imaging 性能の定量的評価 III : Single Field with Single Dish 清兼和紘 (東京大学)	13:42	<b>V118a</b> ALMA 初期科学運用 " Cycle1 " Capability 西合一矢 (国立天文台)
11:06	<b>V109b</b> ALMA コミッショニング : ACA 相関器 鎌崎 剛 (国立天文台 / JAO)	13:54	<b>V119a</b> ACA アンテナ鏡面精度測定用ホログラフィ受信機 (2号機) の製作と性能評価実験 山田真澄 (国立天文台)
11:06	<b>V110b</b> ALMA コミッショニング : Single Dish 観測の進捗状況 小麥真也 (Joint ALMA Observatory/ 国立天文台)	14:06	<b>V120a</b> キャラバン・サブ、ブラックホール解像装置 三好 真 (国立天文台)
11:06	<b>V111b</b> JVO ポータルサイトによる ALMA データ配信サービスの開発 江口智士 (国立天文台)	14:18	<b>V121a</b> 大学 VLBI 連携の改革と将来計画 藤沢健太 (山口大学)
		14:30	<b>V122a</b> 高萩 / 日立 32 m 電波望遠鏡の整備状況 (6) 米倉覚則 (茨城大学)

14:42	<b>V123b</b> 茨城 32 m 電波望遠鏡・日立アンテナの指向誤差 (3) 齋藤 悠 (茨城大学)	15:06	<b>V135b</b> NANTEN2 100GHz 帯マルチビーム受信機の光学系設計 大濱晶生 (名古屋大学)
14:42	<b>V124b</b> 山口大 32m 電波望遠鏡 VLBI システムの広帯域化現状報告 新沼浩太郎 (山口大学)	15:06	<b>V136b</b> 野辺山 45m 鏡に搭載する新マルチ受信機「FOREST」開発の進捗 古家野 誠 (大阪府立大学)
14:42	<b>V125b</b> JAXA 臼田 64m 鏡用 8GHz 帯低雑音受信機の開発 I 山口健太郎 (東京大学)	15:18	<b>V137b</b> 那須観測所 2 素子干渉計 6th 及び 7th survey 結果 貴田寿美子 (早稲田大学)
	<b>V126c</b> 茨城 32m 電波望遠鏡の単一鏡分光観測システム開発 田中智明 (茨城大学)	15:18	<b>V138b</b> 広帯域フィードの開発 (II) 氏原秀樹 (情報通信研究機構)
	<b>V127c</b> 山口 32m 電波望遠鏡の駆動システム更新 藤沢健太 (山口大学)	15:18	<b>V139b</b> 1.85m 電波望遠鏡プロジェクトの開発進捗 (III) 西村 淳 (大阪府立大学)
	<b>V128c</b> VERA 超広帯域観測システムの開発 II 小山友明 (国立天文台)	(V 1 の続きは、22 日午後へ)	
	<b>V129c</b> 北海道大学 苫小牧 11m 電波望遠鏡の IF 機器制御システムの再構成 南原甫幸 (北海道大学)	<b>3 月 21 日 (水) 午前・C 会場</b>	
14:54	<b>V130b</b> 南極サブミリ波望遠鏡の低温対策 大倉裕樹 (筑波大学)	09:30	<b>V201a</b> 光・赤外線天文学大学間連携 この 1 年 黒田大介 (国立天文台)
14:54	<b>V131b</b> 南極 30cm 望遠鏡用新小型 500GHz 帯受信機系の開発 II 長崎岳人 (筑波大学)	09:42	<b>V202a</b> 可視赤外同時カメラ HONIR : 開発とファーストライト 先本清志 (広島大学)
14:54	<b>V132b</b> 超巨大質量ブラックホールの直接検出に向けて - サブミリ波 VLBI グリーンランド望遠鏡の進捗 - 松下聡樹 (台湾中央研究院天文及天文物理研究所 (ASIAA))	09:54	<b>V203b</b> 可視赤外線同時カメラ HONIR : 撮像関連項目の性能評価 原尾達也 (広島大学)
	<b>V133c</b> ミリ波望遠鏡の安価な製作法についての考察 4 春日 隆 (法政大学)	09:54	<b>V204b</b> 可視赤外線同時カメラ HONIR: 偏光・分光観測機能搭載に向けた開発 秋田谷 洋 (広島大学)
15:06	<b>V134b</b> POLARBEAR-II におけるアルミナフィルターの開発 井上優貴 (総合研究大学院大学 / KEK)	09:54	<b>V205b</b> 分布屈折率レンズを用いたイメージスライサー : 四分割スライサーの試作と高充填率化の検討 石垣 剛 (岩手大学)
		10:06	<b>V206a</b> TRIPOL: 3 色 (g' r' i) 撮像偏光装置の性能 佐藤修二 (名古屋大学)

10:18	<b>V207b</b> 木曾観測所次世代広視野カメラ (KWFC) の開発 (III) 酒向重行 (東京大学)	11:06	<b>V218b</b> 多天体補償光学のためのトモグラフィによる波面再構成の検証 大野良人 (東北大学)
10:18	<b>V208b</b> 可視撮像分光装置 NaCS の CCD 読み出しシステムの開発と性能評価 中尾 光 (北海道大学)	11:06	<b>V219b</b> 赤外ドップラー分光器の光ファイバリンクと光周波数コム較正光源 (2) 西川 淳 (国立天文台)
10:18	<b>V209b</b> 可視光ファブリーペロー分光撮像装置の開発 橋場康人 (東京大学)	11:18	<b>V220b</b> 明野 50cm 可視光望遠鏡の観測実績と機能更新 齊藤嘉彦 (東京工業大学)
10:30	<b>V210b</b> かなた望遠鏡における中間赤外線高分散分光器 GIGMICS のファーストライト観測結果の解析 平原靖大 (名古屋大学)	11:18	<b>V221b</b> なゆた望遠鏡・主鏡コーティング装置の開発 坂元 誠 (兵庫県立西はりま天文台公園)
10:30	<b>V211b</b> 近赤外高分散分光器「WINERED」: クライオスタット及び機械系の開発 中西賢之 (京都産業大学)	<b>3月21日(水) 午後・C会場</b>	
10:30	<b>V212b</b> 近赤外高分散分光器「WINERED」: 京都産業大学荒木望遠鏡での光学系の調整 福江 慧 (東京大学/京都産業大学)	13:30	<b>V222a</b> FOCAS 用イメージスライサー型面分光ユニットの開発 尾崎忍夫 (国立天文台)
10:42	<b>V213a</b> 近赤外高分散分光器「WINERED」: 京都産業大学 1.3m 荒木望遠鏡でのファーストライトに向けた開発状況 近藤荘平 (京都産業大学)		<b>V223c</b> LGSAO188: 可変形鏡 BIM188 の状況 II 大屋 真 (国立天文台)
	<b>V214c</b> 線スペクトル偏光分光観測装置 (LIPS) の試験観測と性能評価結果 新崎貴之 (京都産業大学)		<b>V224c</b> すばる 188 素子レーザーガイド星補償光学系プロジェクト: 最適制御アルゴリズムの実装 服部雅之 (国立天文台)
	<b>V215c</b> 冷却 InGaAs カメラ C10633-34 のノイズ評価試験 滝野 奨 (名古屋大学)	13:42	<b>V225a</b> Hyper Suprime-Cam 観測支援システムとしてのサーベイ達成度マップ表示ツールの開発 山野井 瞳 (国立天文台)
10:54	<b>V216a</b> 一般化された暗領域をもつ 1 次元バイナリ瞳マスクコロナグラフ 塩谷圭吾 (宇宙航空研究開発機構)	13:54	<b>V226b</b> Hyper Suprime-Cam サーベイのためのスケージュリングシミュレーション 西澤 淳 (東京大学 IPMU)
11:06	<b>V217b</b> Second-Earth Imager for TMT (SEIT) 2: バイオマーカと装置進捗 松尾太郎 (国立天文台)	13:54	<b>V227b</b> 愛媛大学 HSC フィルタープロジェクト: NB816 と NB718 の状況 塩谷泰広 (愛媛大学)
		13:54	<b>V228b</b> すばる望遠鏡共同利用観測装置の英文版データ解析手順書の整備: 5 年間のまとめ 古屋 玲 (国立天文台)

		<b>3月22日(木) 午前・C会場</b>
14:06	<b>V229a</b> TAO 計画の進捗 - 6.5m 望遠鏡概念設計など 峰崎岳夫 (東京大学)	09:30 <b>V241a</b> MAGIC 報告 7: UV パルスレーザーを用いた信号校正用装置の開発とその性能評価 中嶋大輔 (Max-Planck-Institut für Physik)
14:18	<b>V230a</b> TAO6.5m 望遠鏡用観測装置 SWIMS.MIMIZUKU の開発進捗報告 小西真広 (東京大学)	09:42 <b>V242a</b> MAGIC 報告 8:MAGIC 望遠鏡カメラコントロールシステム及びアップグレード 遠山 健 (Max-Planck-Institut für Physik)
14:30	<b>V231b</b> 近赤外線多天体分光撮像装置 SWIMS 用面分光ユニットの開発 尾崎忍夫 (国立天文台)	09:54 <b>V243a</b> Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告 手嶋政廣 (東京大学)
14:30	<b>V232b</b> miniTAO 1m 望遠鏡用近赤外線カメラ ANIR: 2011 年度後期進捗報告 館内 謙 (東京大学)	10:06 <b>V244a</b> Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: パフォーマンスとサイエンス 戸谷友則 (京都大学)
14:30	<b>V233b</b> 南極ドームふじ基地での冬期無人赤外線天体観測 沖田博文 (東北大学)	10:18 <b>V245a</b> CTA 大規模望遠鏡の分割鏡の開発 (2) 周 小溪 (近畿大学)
14:42	<b>V234a</b> 京大岡山新技術望遠鏡計画の技術に関する進捗状況 栗田光樹夫 (名古屋大学)	10:30 <b>V246a</b> CTA 大口径望遠鏡のための焦点面検出器の開発 (2) 小山志勇 (埼玉大学)
14:54	<b>V235a</b> Japanese Virtual Observatory (JVO) の研究開発 - 2011 年度全体進捗 白崎裕治 (国立天文台)	10:42 <b>V247a</b> CTA 大口径望遠鏡読み出し回路の開発 (2) 栗根悠介 (京都大学)
15:06	<b>V236b</b> Japanese Virtual Observatory (JVO) の研究開発 - VO クローラ 小宮 悠 (国立天文台)	10:54 <b>V248a</b> 大型低温重力波望遠鏡 LCGT 計画 安東正樹 (京都大学)
15:06	<b>V237b</b> Japanese Virtual Observatory (JVO) の研究開発 - VO データ自動分類機能の開発 江口智士 (国立天文台)	11:06 <b>V249a</b> 重力波検出器 LCGT のための低損失ミラー開発 辰巳大輔 (国立天文台)
15:06	<b>V238b</b> 2MASS Catalog Server Kit version 2.0 の開発・公開 山内千里 (国立天文台 / 宇宙航空研究開発機構)	11:18 <b>V250a</b> LCGT 用防振装置の開発 高橋竜太郎 (国立天文台)
15:18	<b>V239a</b> H-alpha/ 連続光高速撮像装置のハード設計・製作 仲谷善一 (京都大学)	<b>V251c</b> 時間領域分光法を用いたサブミリ波帯光学素子評価システムの開発 大田 泉 (近畿大学)
	<b>V240c</b> 京都大学飛騨天文台 SMART 望遠鏡観測システムの自動化 森田 諭 (京都大学)	

## W. 飛翔体観測機器

3月22日(木) 午後・C会場	3月19日(月) 午後・B会場
13:30 V140a 那須サーベイ電波源の進化論的位置づけ 大師堂経明 (早稲田大学)	13:00 W101a ASTRO-H 搭載精密軟 X 線分光装置 SXS の開発の現状 (VII) 田代 信 (埼玉大学)
13:42 V141a GroundBIRD 実験による CMB 偏光の大角度スケール相関の観測 田島 治 (高エネルギー加速器研究機構)	13:12 W102a ASTRO-H 衛星搭載軟ガンマ線検出器 (SGD) の開発現状 渡辺 伸 (宇宙航空研究開発機構)
13:54 V142a CMB 偏光実験用コヒーレント検出器の開発 I - 実験室での基本性能評価 - 永井 誠 (高エネルギー加速器研究機構)	13:24 W103a X線天文衛星 ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の開発の現状 林田 清 (大阪大学)
14:06 V143a CMB 偏光実験用コヒーレント検出器の開発 II - 雑音特性の評価研究 - 石徹白晃治 (高エネルギー加速器研究機構)	13:36 W104b X 線衛星 ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ SXI 用 CCD 素子の開発～スクリーニングシステムを用いた CCD 性能評価 菅 裕哲 (大阪大学)
14:18 V144a ASTE 望遠鏡への 0.9, 1.3 THz 帯超伝導 HEB ミキサ受信機搭載 椎野竜哉 (東京大学)	13:36 W105b ASTRO-H 搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) 用小型素子評価システムの開発 岩井将親 (東京工業大学 / 宇宙航空研究開発機構)
14:30 V145a 極低温集積回路を用いた超伝導サブミリ波検出器の読出試験 松尾 宏 (国立天文台)	13:36 W106b ASTRO-H 衛星搭載 X 線 CCD カメラ (SXI) の機上データ処理のソフトウェア検証 大浦智史 (宮崎大学)
14:42 V146a 10m 地上望遠鏡によるミリ波惑星大気環境計測 SPART 計画の進捗 森部那由多 (名古屋大学)	13:48 W107a ASTRO-H 衛星搭載 HXI/SGD の電源制御回路部 (CPMU) の開発 原山 淳 (埼玉大学 / 理化学研究所)
14:54 V147a 野辺山 45 m 鏡新観測システムと 2SB 受信機システムの現状 中島 拓 (国立天文台)	14:00 W108a ASTRO-H 搭載 硬 X 線望遠鏡 (HXT) の開発の現状 IV 栗木久光 (愛媛大学)
15:06 V148a 電波流星観測からわかる等級光度と継続時間 武島佑季 (帝京大学)	14:12 W109a ガラスコーティングによるレプリカ母型の高精度化開発研究 出本忠嗣 (名古屋大学)
	14:24 W110a 硬 X 線望遠鏡搭載用レプリカ反射鏡の結像性能の向上 渡邊 剛 (名古屋大学)
	14:36 W111a ASTRO-H 搭載 X 線望遠鏡用プリコーメータの開発の現状 森 英之 (宇宙航空研究開発機構)

14:48	<b>W112a</b> 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H に搭載する Soft-X-ray-Telescope の地上性能評価 富川和紀 (首都大学東京)	10:18	<b>W123a</b> CALET 実験ガンマ線バーストモニター (CGBM) 開発の現状報告 吉田篤正 (青山学院大学)
15:00	<b>W113b</b> Astro-H 搭載硬 X 線望遠鏡の反射鏡温度耐久試験 前田良知 (宇宙航空研究開発機構)	10:30	<b>W124a</b> X線偏光観測衛星 GEMS に搭載するガス検出器の偏光応答モンテカルロシミュレータの開発 北口貴雄 (理化学研究所)
15:00	<b>W114b</b> ずざく衛星搭載 X 線 CCD カメラ XIS における電荷注入量増加の効果とその較正 中島真也 (京都大学)	10:42	<b>W125a</b> ダークバリオン探査ミッション DIOS : 開発の進展について 大橋隆哉 (首都大学東京)
15:00	<b>W115b</b> TES 型 X 線マイクロカロリメータにおけるマッシュルーム型吸収体の開発 永吉賢一郎 (宇宙航空研究開発機構)	10:54	<b>W126b</b> DIOS 衛星搭載用 4 回反射 X 線望遠鏡 FXT の開発 杉田聡司 (名古屋大学)
<b>3 月 20 日 (火) 午前・B 会場</b>			
09:30	<b>W116a</b> 次期 X 線天文衛星 ASTRO-H 搭載硬 X 線撮像用シリコンストリップ検出器の放射線耐性評価 林 克洋 (広島大学)	10:54	<b>W127b</b> DIOS 衛星を目指した TES 型 X 線マイクロカロリメータアレイの開発 江副祐一郎 (首都大学東京)
09:42	<b>W117a</b> ASTRO-H 衛星搭載 HXI 用両面ストリップ検出器の応答の研究 萩野浩一 (東京大学 / 宇宙航空研究開発機構)	10:54	<b>W128b</b> GEMS 衛星偏光計に使用するジメチルエーテル中の不純物ガスによるスペクトル変化の定量化 宮川健太 (東京理科大学)
09:54	<b>W118a</b> ASTRO-H 衛星搭載 BGO シールド統合試験に向けたアナログ信号処理部の検証 吉野将生 (早稲田大学)	11:06	<b>W129a</b> 超小型衛星 TSUBAME 搭載用ガンマ線バースト検出器の開発 常世田和樹 (東京工業大学)
10:06	<b>W119a</b> 広天域 X 線監視観測 (Wide-Field MAXI) 計画 河合誠之 (東京工業大学)	11:18	<b>W130a</b> ずざく衛星搭載 XIS における「Si edge 問題」の解決にむけての取組 (2) 海田亮平 (宮崎大学)
	<b>W120c</b> MAXI/GSC の非 X 線バックグラウンドの性質とモデル化 志達めぐみ (京都大学)	11:30	<b>W131b</b> レーザープラズマ光源を使った Xmas 望遠鏡の撮像実験 IV 村上弘志 (立教大学)
	<b>W121c</b> SSD を用いた MAXI データベースの高速化 浅田 真 (日本大学)	11:30	<b>W132b</b> 湾曲結晶を用いたブラック反射型 X 線偏光計の開発とその現状 飯塚 亮 (中央大学)
	<b>W122c</b> 光子計測型太陽 X 線望遠鏡に用いる CMOS 検出器の開発と評価 -Part II 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)	11:30	<b>W133b</b> 新型 X 線干渉計の検討 IV 坂田和也 (立教大学)
		11:42	<b>W134b</b> ペルセウス銀河団におけるずざく衛星搭載 XIS の SCF 効果 吉田裕貴 (立教大学)



3月20日(火) 午後・B会場	
13:30	<b>W135a</b> 低エネルギー側の感度向上を目指した裏面照射型 CCD の検出効率測定 あべ松高志 (横浜国立大学)
13:42	<b>W136a</b> SOI 技術を用いた新型X線撮像分光器の開発 6: XRPIX1b の性能評価 劉 周強 (京都大学)
13:54	<b>W137a</b> SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 7: XRPIX-ADC1 の性能評価 中島真也 (京都大学)
14:06	<b>W201a</b> Nano-JASMINE と小型 JASMINE の概要と状況 郷田直輝 (国立天文台)
14:18	<b>W202b</b> 小型 JASMINE の技術課題 矢野太平 (国立天文台)
14:18	<b>W203b</b> 小型 JASMINE 実現のためのクリティカルな検討課題の技術実証 II 丹羽佳人 (国立天文台)
14:18	<b>W204b</b> 小型 JASMINE における高指向安定度実現のためのティップティルト鏡制御実験 田村友範 (国立天文台)
	<b>W205c</b> JASMINE で解明を目指すバルジ構造 辻本拓司 (国立天文台)
14:30	<b>W206a</b> Nano-JASMINE データ解析と公開 山田良透 (京都大学)
	<b>W207c</b> Nano-JASMINE 衛星の現状について 小林行泰 (国立天文台)
14:42	<b>W208b</b> 超小型赤外線位置天文衛星 Nano-JASMINE 搭載 CCD の放射線劣化に対する検討 志村勇樹 (東京大学)
14:42	<b>W209b</b> 太陽 Ly $\alpha$ 線偏光分光観測ロケット実験 CLASP の cold mirror coating 開発 - Part II 成影典之 (宇宙航空研究開発機構)
14:42	<b>W210b</b> 太陽彩層 Ly $\alpha$ 線偏光分光観測装置 CLASP で用いる凹面回折格子の波長分解能評価法の構築 久保雅稔 (明星大学 / 国立天文台)
	<b>W211c</b> 気球搭載型遠赤外線干渉計 FITE : 2010 年実験結果と次期フライト計画 芝井 広 (大阪大学)
14:54	<b>W212b</b> WFS を用いた遠赤外線干渉計 FITE の光学調整方法の開発 佐々木彩奈 (大阪大学)
14:54	<b>W213b</b> FITE 計画に向けた遠赤外線二次元アレイ検出器の開発状況 金子有紀 (大阪大学)
14:54	<b>W214b2</b> 重量子井戸構造を用いた遠赤外線検出器の開発 二瓶亮太 (筑波大学)
15:06	<b>W215b</b> SOLAR-C 大口径紫外可視近赤外太陽望遠鏡の検討状況 末松芳法 (国立天文台)
15:06	<b>W216b</b> SOLAR-C : 高頻度動作が可能な高信頼性回転駆動機構の国内開発 (V) グリース潤滑剤アウトガス評価 (III) 渡邊恭子 (宇宙航空研究開発機構)
	<b>W217c</b> SOLAR-C 紫外可視近赤外太陽望遠鏡における焦点面装置光学系の検討 勝川行雄 (国立天文台)
	<b>W218c</b> SOLAR-C に向けた紫外線照射下でのコンタミネーション制御のための基礎実験 原 弘久 (国立天文台)
15:06	<b>W219b8</b> 分割位相マスクコロナグラフを用いた角度差分撮像モードの検討 押山史佳 (北海道大学)
15:18	<b>W220b</b> 系外惑星直接撮像のための高コントラスト光学系の研究・初段補償光学による干渉計内部の波面補正 堀江正明 (日本大学 / 国立天文台)

15:18	<b>W221b</b> 系外惑星直接観測のためのコロナグラフにおけるダークゾーン法を併用した補償光学制御法 大矢正人（日本大学 / 国立天文台）	10:54	<b>W231bA</b> SPICA far-IR imaging spectrometer SAFARI – its challenges to accomplish scientific goals 土井靖生（東京大学）
<b>3月21日（水）午前・B会場</b>		11:06	<b>W232a</b> SPICA Coronagraph Instrument (SCI) 開発進捗について 小谷隆行（宇宙航空研究開発機構）
09:30	<b>W222a</b> スペース重力波アンテナ DECIGO 計画 (21) 阿久津智忠（国立天文台）	11:18	<b>W233a</b> SPICA 望遠鏡搭載に向けたバイナリ瞳マスクコロナグラフの開発 樋香奈恵（総合研究大学院大学 / 宇宙航空研究開発機構）
09:42	<b>W223a</b> インフレーションを検証するCMB 偏光観測小型科学衛星 LiteBIRD 羽澄昌史（高エネルギー加速器研究機構）	11:30	<b>W234b</b> Mid-Infrared Low-temperature Coronagraph Testbed (MILC-T) : 中間赤外線コロナグラフ等のための汎用大型極低温テストベッドの開発 塩谷圭吾（宇宙航空研究開発機構）
09:54	<b>W224a</b> 非対称ナル干渉と補償光学を融合した系外惑星直接検出のための超高コントラスト撮像法 (5) 西川 淳（国立天文台）	11:30	<b>W235b</b> SPICA 搭載近赤外焦点面カメラ Forcal Plane Camera (FPC) : 目指すサイエンスと開発の現状 津村耕司（宇宙航空研究開発機構）
10:06	<b>W225a</b> 次世代赤外線天文衛星 SPICA の現状 (V) 中川貴雄（宇宙航空研究開発機構）	11:30	<b>W236b</b> SPICA ミッション部熱構造と焦点面観測装置の検討状況 松原英雄（宇宙航空研究開発機構）
10:18	<b>W226a</b> SPICA プロジェクトにおけるリスク低減フェーズの活動状況について 川田光伸（宇宙航空研究開発機構）		<b>W237c</b> 赤外線天文衛星「あかり」の運用停止について 村上 浩（宇宙航空研究開発機構）
10:30	<b>W227a</b> Updated Design and Development of the SPICA Telescope Assembly 尾中 敬（東京大学）		<b>W238c</b> あかり衛星 Phase3 における近赤外分光データの性質評価と解析ソフトウェア開発への応用 左近 樹（東京大学）
10:42	<b>W228a</b> SPICA 搭載中間赤外線分光撮像装置の進捗報告 (2012 春) 片坐宏一（宇宙航空研究開発機構）		<b>W239c</b> 第3回 CIBER ロケット実験一偏光分光装置の性能評価実験 新井俊明（東京大学 / 宇宙航空研究開発機構）
10:54	<b>W229b</b> SPICA 搭載用中間赤外線イメージング回折格子の開発：溝形状の実現から実用性向上の成膜へ 猿楽祐樹（宇宙航空研究開発機構）		
10:54	<b>W230b</b> SPICA 搭載中間赤外線分光撮像装置の中分散分光部 (MRS) の主要開発項目の進捗 左近 樹（東京大学）		

## X. 銀河形成

3月20日(火) 午後・F会場		3月21日(水) 午前・F会場	
13:30	<b>X01a</b> OpenCLによるN体計算の高速化 中里直人(会津大学)	09:30	<b>X13a</b> Extended Emission Line Region: 母銀河スケールのAGN電離過程 松岡良樹(名古屋大学)
13:42	<b>X02a</b> 宇宙論的 pseudobulge 形成 岡本 崇(筑波大学)	09:42	<b>X14a</b> X線選択活動銀河核を用いた活動的ブラックホールの $z \sim 1.4$ での統計 信田和哉(東北大学)
13:54	<b>X03a</b> 階層的銀河形成と超金属欠乏星における $r$ -過程元素組成 小宮 悠(国立天文台)	09:54	<b>X15a</b> A group of quiescent galaxies at $z=1.6$ 田中賢幸(東京大学)
14:06	<b>X04a</b> ダスト供給源のダストサイズ依存性を考慮した銀河のダスト進化モデルの構築 浅野良輔(名古屋大学)	10:06	<b>X16a</b> LGSAO188で拓かれる重力レンズクエーサー吸収線系の近赤外高分散分光観測 濱野哲史(東京大学)
14:18	<b>X05b</b> GPUを用いた輻射輸送シミュレーションの高速化 田中 賢(筑波大学)	10:18	<b>X17a</b> NIR spectroscopy of star-forming galaxies at $z \sim 1.4$ with FMOS. II 矢部清人(京都大学)
14:18	<b>X06b</b> 「あかり」北黄極領域ディープサーベイのカタログ再構築 村田一心(総合研究大学院大学/宇宙科学研究所)	10:30	<b>X18a</b> $z=1.7$ [OII]輝線銀河におけるダストに隠された星形成活動 但木謙一(東京大学)
	<b>X07c</b> ダストのサイズ分布進化と宇宙再電離 山澤大輔(北海道大学)	10:42	<b>X19a</b> 近接した二つの密度超過領域から成る形成途上の $z=2.53$ の原始銀河団 林 将央(国立天文台)
14:30	<b>X08a</b> 北黄極多波長銀河ディープサーベイ: データ公開とサブミリ波観測計画 和田武彦(宇宙航空研究開発機構)	10:54	<b>X20a</b> SSA22 $z=3.1$ 原始銀河団における星形成 久保真理子(東北大学)
14:42	<b>X09a</b> Far infrared galaxies in AKARI's eye Katarzyna Malek(名古屋大学)	11:06	<b>X21b</b> 赤方偏移 $z < 1$ におけるバースト的な星生成銀河の進化 落合未奈美(愛媛大学)
14:54	<b>X10a</b> A new method of star-galaxy separation from the NIR and MIR AKARI data Solarz Aleksandra(名古屋大学)	11:06	<b>X22b</b> The AzTEC/ASTE 1.1-mm survey of Ly $\alpha$ blobs at $z = 3.1$ 田村陽一(東京大学)
15:06	<b>X11a</b> Explore the evolution of major mergers from ultraviolet and infrared data Yuan Fangting(名古屋大学)	11:06	<b>X23b</b> ガンマ線バースト母銀河における埋もれた星形成活動への制限 廿日出文洋(京都大学)
15:18	<b>X12a</b> 超高光度赤外線銀河の複数個コアの起源 松井秀徳(国立天文台)	11:18	<b>X24b</b> 宇宙論的銀河形成モデルへの新たなフィードバック機構の導入 真喜屋 龍(京都大学)

## Y. 天文教育・その他

		<b>3月19日(月) 午後・A会場</b>			
11:18	<b>X25b</b>	すばる FMOS 赤方偏移空間歪み探査 (FastSound) における輝線検出の自動化 住吉昌直 (京都大学)	13:00	<b>Y01a</b>	国立天文台「科学文化形成ユニット」の総括 縣 秀彦 (国立天文台)
	<b>X26c</b>	定量的形態評価を用いたチェーン銀河サンプルの構築 村田勝寛 (名古屋大学)	13:12	<b>Y02b</b>	国立天文台「科学映像クリエイター養成コース」の取り組み 三上真世 (国立天文台)
		<b>3月21日(水) 午後・F会場</b>	13:12	<b>Y03b</b>	東京国際科学フェスティバル3年間の事績とネットワークへの展望 内藤誠一郎 (国立天文台)
13:30	<b>X27a</b>	SSA22 領域におけるサブミリ波銀河の性質: III. 大規模構造との関係性 梅畑豪紀 (東京大学)	13:12	<b>Y04b</b>	多機関連携プロジェクトの科学広報 吉戸智明 (筑波大学)
13:42	<b>X28a</b>	理論モデルから探る高赤方偏移 LAE の物理的性質と LBG との関係 小林正和 (国立天文台)	13:24	<b>Y05a</b>	デス・エデュケーションの手段としての天文学 藤原智子 (九州大学)
13:54	<b>X29a</b>	The First Systematic Survey for Ly $\alpha$ Emitters at z=7.3 with Suprime-Cam 澁谷隆俊 (総合研究大学院大学)	13:36	<b>Y06a</b>	近隣の高校や科学館と連携した大学生向けの天体観測授業 中野多恵 (九州工業大学)
14:06	<b>X30a</b>	A Search for z=7.3 Ly $\alpha$ Emitters behind Lensing Clusters 太田一陽 (京都大学)	13:48	<b>Y07a</b>	高校生向け天文学者職業体験企画(もし天ノ君天)の活動報告と高等教育への展開 田中幹人 (東北大学)
14:18	<b>X31a</b>	ロケット実験 CIBER による宇宙赤外線背景放射スペクトルの観測 (3) 松浦周二 (宇宙航空研究開発機構)	14:00	<b>Y08b</b>	高校生天体観測ネットワークの2011年度活動報告と2012年度の取り組み 塚田 健 (平塚市博物館)
			14:00	<b>Y09b</b>	太陽観測用小型分光器の製作と応用 坂江隆志 (埼玉県立浦和西高等学校)
				<b>Y10c</b>	高校天文部におけるBSアンテナによる電波観測の成果と展望 篠原秀雄 (埼玉県立蕨高校)
			14:00	<b>Y11b</b>	アクリル樹脂で作る重力レンズ 渡會兼也 (金沢大学附属高等学校)
				<b>Y12c</b>	惑星科学教育としての月 鈴木文二 (春日部女子高等学校)

		<b>3月20日(火) 午前・A会場</b>
	<b>Y13c</b> 2回目のSpace Weather Forecasting Contestへの参加 三宅 互 (東海大学)	09:30 <b>Y24a</b> 2012年金環日食日本委員の活動 大西浩次 (長野高専)
14:12	<b>Y14b</b> バリアフリー天文絵本プロジェクト: 点図製作 嶺重 慎 (京都大学)	09:42 <b>Y25a</b> 2012年金環日食の日本での見え方と人口分布 齋藤 泉 (栃木県子ども総合科学館天文課)
14:12	<b>Y15b</b> 大阪ステーションシティ天体観望会の実施報告～都市部における天体観望会の可能性～ 斉藤秀樹 (京都大学)	09:54 <b>Y26a</b> 2012年金環日食日本委員会による日食観察方法の広報活動 大川拓也 (2012年金環日食日本委員会)
14:12	<b>Y16b</b> ビジネス街での天文学普及: まるのうち宇宙塾の取り組み 高梨直紘 (東京大学)	10:06 <b>Y27a</b> 2012年金環日食に向けた教材開発 大越 治 (日食観測学習連絡会・2012年金環日食日本委員会)
14:24	<b>Y17a</b> ひので衛星と高校・公開天文台・科学館との太陽共同観測データアーカイブの活用 矢治健太郎 (立教大学)	10:18 <b>Y28a</b> 金環日食北限界線共同観測プロジェクト 井上 毅 (明石市立天文科学館)
14:36	<b>Y18a</b> PAONET ひのでデータ活用ワーキンググループ5年間の活動 殿岡英顕 (国立天文台)	10:30 <b>Y29a</b> 2012年5月21日の金環日食北限界線 相馬 充 (国立天文台)
14:48	<b>Y19a</b> 大規模天文観測データの可視化に向けたデジタルプラネタリウム番組の製作 海老沢 研 (宇宙航空研究開発機構)	10:42 <b>Y30a</b> 国立天文台アーカイブ室の活動(1): レビュー 渡部潤一 (国立天文台)
	<b>Y20c</b> 宇宙科学データの時系列可視化と携帯型デバイスへの応用検討 三浦 昭 (宇宙航空研究開発機構)	10:54 <b>Y31a</b> 国立天文台アーカイブ室の活動(2): 国の重要文化財に指定されたレプソルド子午儀 中桐正夫 (国立天文台)
	<b>Y21c</b> 仮想化技術を用いたMitakaの3D立体視システムの構築 政谷佳輝 (岡山理科大学)	11:06 <b>Y32a</b> 国立天文台アーカイブ室の活動(3): 日本最古の星野写真乾板の発見 佐々木五郎 (国立天文台)
15:00	<b>Y22b</b> 東日本大震災の影響による夜空の明るさの変化 野村詩穂 (星空公園)	11:18 <b>Y33a</b> 国立天文台アーカイブ室の活動(4): 堂平観測所写真乾板の整理 大島紀夫 (国立天文台)
15:00	<b>Y23b</b> 全国同時七夕講演会の実施とその反響 前原裕之 (京都大学)	11:30 <b>Y34a</b> 古観測機器「圭表」を用いた観測実習計画(圭表プロジェクト)の試みとその概要について 柳澤洋文 (大阪教育大学)
		11:42 <b>Y35b</b> 『夜籠雑談話』における天文数値及び挿絵について 上田晴彦 (秋田大学)

2012年2月20日発行

年会実行委員会

委員長	幸村孝由	(工学院大学)
委員	久保雅仁	(国立天文台)
	小久保英一郎	(国立天文台)
	左近樹	(東京大学)
	鈴木知治	(東京大学)
	田中邦彦	(慶應義塾大学)
	土居明広	(宇宙航空研究開発機構)
	峰崎岳夫	(東京大学)
	宮田隆志	(東京大学)
	米倉覚則	(茨城大学) 保育室担当

年会開催地理事

太田耕司 (京都大学)

年会準備幹事

中山薫二 (龍谷大学)